

あいちの教育に関するアクションプランⅡ

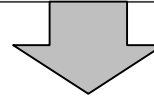
〈個別施策の実施状況〉

平成27年度一般会計予算執行状況（参考）
（平成28年3月31日現在）

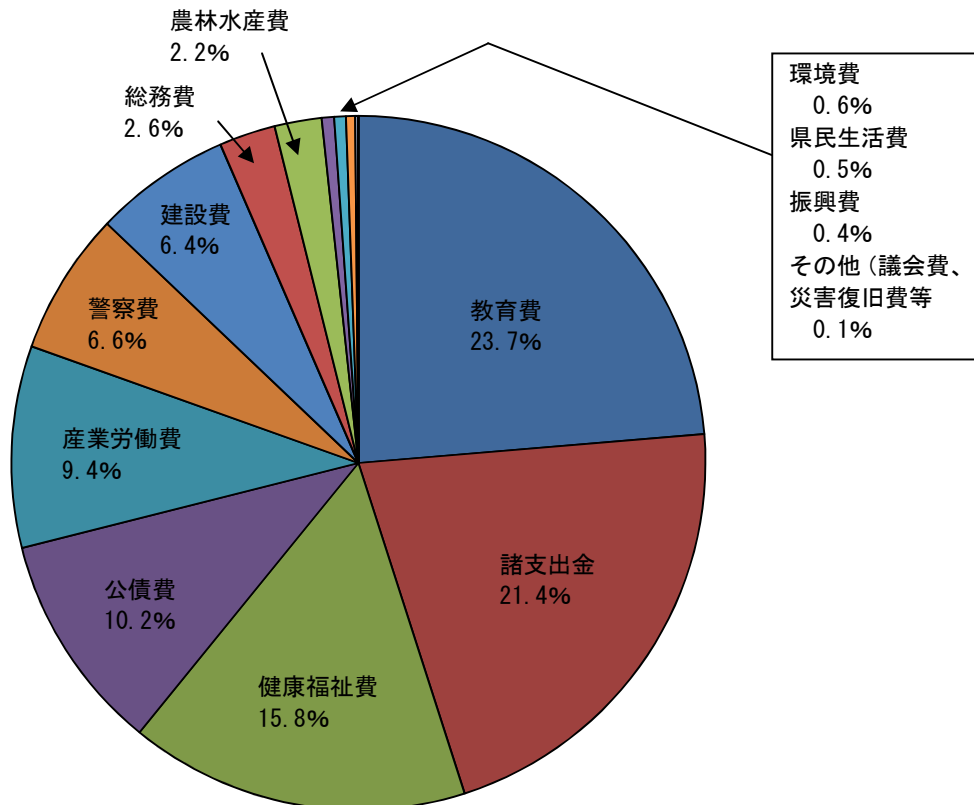
（単位：千円）

歳出			子 算 現 額			支 出 額 差 引		B / A
科 目	目	予 算 額	前年度からの繰越額	計 A	B	A-B	%	
								議 会 費
議 務 費	68,409,117	53,209	68,462,326	58,488,334	9,973,992	85.4		
振 興 費	10,984,956	2,065,957	13,050,913	9,421,748	3,629,165	72.2		
県 民 生 活 費	13,990,568	27,270	14,017,838	12,110,801	1,907,037	86.4		
環 境 費	14,653,443	-	14,653,443	12,799,418	1,854,025	87.3		
健 康 福 祉 費	401,382,501	745,114	402,127,615	352,059,564	50,068,051	87.5		
産 業 労 働 費	213,436,723	1,248,593	214,685,316	209,242,656	5,442,660	97.5		
農 林 水 産 費	63,227,834	2,440,823	65,668,657	48,756,960	16,911,697	74.2		
建 設 費	176,251,665	29,959,810	206,211,475	142,059,960	64,151,515	68.9		
警 察 費	168,696,396	-	168,696,396	147,982,197	20,714,199	87.7		
教 育 費	581,218,109	131,255	581,349,364	526,983,255	54,366,109	90.6		
災 害 復 旧 費	286,737	113,000	399,737	207,661	192,076	51.9		
公 債 費	363,698,233	-	363,698,233	226,994,338	136,703,895	62.4		
諸 支 出 金	480,053,563	-	480,053,563	475,628,999	4,424,564	99.1		
予 備 費	275,253	-	275,253	0	275,253	0.0		
合 計	2,559,771,018	36,785,031	2,596,556,049	2,225,816,106	370,739,943	(82.0)	85.7	

備考（ ）は、前年同期の執行率である。



【支出額割合の科目別内訳】



重点目標 1 幅広い県民の参加により道徳性・社会性の向上を図ります。

(1) 道徳性・社会性の向上

■ 命を大切にす教育の充実

施策の展開	当初予算額 (千円)	主 な 内 容	主 な 実 績
「命を大切にできる子どもを育む道徳教育」の推進	123	「命を大切にできる子どもを育む道徳教育の在り方」をテーマとした、推進校への研究委託	推進校数：小1校(1校)、中1校(1校)
あいっこイキイキ子育て支援地域交流会の開催	1,112	家庭や地域の教育力の向上を図るための子育て支援を考える地域交流会の開催	開催地：6地区(6地区) [東郷町、蟹江町、常滑市、西尾市、豊川市、東栄町] 参加者数：2,090人(2,329人)

■ 社会全体のモラルの向上

地域協働生徒指導推進事業	614	学校を核として、地域や家庭と連携した生徒の健全育成を図る取組の実施	生徒指導推進地域：12地域(12地域)
「あいちの教育」シンボルマーク・標語の募集・活用	—	社会全体で子どもたちを大きく育てていく機運を醸成するための「あいちの教育」をイメージしたシンボルマーク・標語の活用	電柱広告へのシンボルマーク及びいじめ・児童虐待防止の標語の掲載
関係機関と連携した教育キャンペーンの実施	502	幅広い県民の参加により道徳性・社会性の向上を図るための関係機関と連携した教育キャンペーンの実施	重点テーマ：スマートフォン・携帯電話の安心安全利用 〈市町村・学校キャンペーン〉 時期：平成27年9月～12月
育19キャンペーンと連動した「モラル・マナー」の啓発	—	「子育て応援の日(はぐみんデー)」にちなんだ街頭啓発活動(育19キャンペーン)に合わせた「モラル・マナー」の啓発の実施	子育て応援の日：毎月19日 開催地：名古屋市[大曾根駅周辺] 開催日：平成27年11月19日(木)

※当初予算額は平成27年度の当初予算額である。

※主な実績欄の()内の数値は平成26年度実績である。

施策の展開	当初予算額 (千円)	主 な 内 容	主 な 実 績
青少年育成県民運動の展開	306	市町村、学校関係者、PTA、警察、青少年団体等と連携した各種青少年育成県民運動の実施 ①子ども・若者育成支援県民運動、②「家庭の日」県民運動、③青少年の非行・被害防止に取り組む県民運動	①強調月間:11月 ②強調月間:2月 ③強調期間:夏期[7・8月]及び冬期[12月10日～1月10日]
「少年の主張」の開催	310	中学生の社会性と自主性の育成と青少年の健全育成に対する理解を深めるための「少年の主張」愛知県大会の開催	開催日:平成27年8月25日(金) 開催地:一宮市[一宮市民会館] 応募者数:53,550人(54,251人) 参加者数:1,570人(342人)
■ 道徳教育の充実			
心の教育推進活動	—	県内全小・中学校(名古屋市除く)での家庭や地域と連携した児童生徒の心を育む体験活動の実施	強調月間:5月、11月 取組例:奉仕活動、福祉実践、自然とのふれあい 等 ※各学校の取組を道徳教育総合推進サイト「モラルBOX」に掲載
道徳教育総合推進事業	4,882	道徳教育の充実・振興を図るための道徳教育推進会議の開催と推進校への研究委託	〈道徳教育推進会議〉 テーマ:「特別の教科 道徳」の実施を見据えた道徳教育の充実 会議開催:年2回(2回) 推進校:小2校(2校)中2校(2校) 〈道徳教材の活用研究〉 実践校:小8校(8校)中6校(8校)幼2校(0校)
道徳教育総合推進サイト「モラルBOX」の運用	186	道徳教育に関する学校の実践などを掲載し、家庭・地域・学校に発信するためのWebサイトの運営	モラルBOXアクセス件数: 394,506件(356,506件)[累計] 1,085件(992件)[1日平均]
■ 集団活動や交流活動の推進			
学校連携仲間づくり推進事業(新規)	1,170	地域の仲間や異世代の人たちと連携・協働による豊かな心の育成と、特色ある学校づくりに取り組んでいけるよう、創意工夫ある取組の実践を委託	推進校:小3校、中3校 実践例:地域での老人会との交流、祭りや地域防災訓練への参加、福祉施設訪問、美化活動、挨拶運動等

施策の展開	当初予算額 (千円)	主 な 内 容	主 な 実 績
道徳教育推進事業（明日を拓く人材育成事業）	3,522	道徳教育資料「明日を拓く一人間としての在り方生き方を求めて」を活用した道徳教育の取組や様々な体験活動、社会貢献活動を行い、児童生徒の道徳性の向上を図る。	実践指定校として、県立高等学校8校、県立特別支援学校2校を指定し、道徳教育の実践や体験活動、地域貢献活動を行った。
防災キャンプの実施	1,000	青少年の防災教育及び地域のきずなづくり等を推進するために、体験型の防災プログラムを実践する防災キャンプの実施	実施市町村:2市[豊田市、豊川市](3市町) 参加者数:1,096人[2市合計](747人[3市町合計]) 内容:学校や社会教育施設等を避難所とした生活体験等 事例発表会参加者数:75人(75人)
青年指導者の養成（愛知県青年講座の開催）	238	青少年教育活動の指導者の企画力、運営力、指導力を養成するための講座の開催	受講生:16人(14人)、うち修了生16人(13人) 日数:5日(5日)
社会教育施設の運営	205,194	青少年を始めとする県民の宿泊研修や野外活動の利用に供するための青年の家、美浜少年自然の家、旭高原少年自然の家の管理運営委託 〔主な実績欄の凡例〕 A:宿泊利用者数 B:研修室等利用件数	〈青年の家〉 A:23,229人(24,104人) B:3,242件(2,987件) 〈美浜少年自然の家〉 A:49,011人(48,868人) B:3,004件(2,907件) 〈旭高原少年自然の家〉 A:49,917人(52,437人) B:1,937件(2,073件)
■ 情報モラルの向上			
保護者向けスマートフォン安心利用普及事業	21,305	青少年のスマートフォン等を介したインターネット利用によるトラブルを未然に防ぐため、保護者が端末を実際に操作して、スマートフォン等の危険性や正しい使い方等を学ぶ教室を開催	実施教室数:240教室 受講人数:4,398人

施策の展開	当初予算額 (千円)	主 な 内 容	主 な 実 績
道徳教育総合推進サイト「モラルBOX」での情報モラルに関する情報の発信	—	情報モラル教育も含めた道徳教育に関する学校の実践などを掲載し、家庭・地域・学校に発信するためのWebサイトの運営	情報モラル教育実践掲載:338件
専門機関によるネットパトロールの実施	8,479	全ての県立学校を対象としたインターネット掲示板等における不適切な書き込み等の検索	検出件数:3,314件(うち緊急性が高いと判断される書き込みについて、学校と教育委員会が連携して早期に対応し、問題を未然に防止)

(2) 人権教育の推進

■ 児童生徒への指導の充実

施策の展開	当初予算額 (千円)	主 な 内 容	主 な 実 績
学校における人権教育の推進(人権週間を中心とした取組)	—	各学校で人権週間(12月4日～10日)を中心とした期間に、人権問題に対する理解や認識を深めるための取組を実施	〈主な取組例〉 校長講話、講演会、DVDの視聴、人権問題を取り上げた教科等の授業、人権作文やポスターへの取組 等
学校における人権教育の推進(家庭・地域との連携・協力)	—	各学校での人権教育の取組について、家庭や地域と連携して実施	〈主な取組例〉 学校の取組を地域や保護者に積極的に発信、家庭や地域から講師を招く 等
人権教育に関する教育方法の研究等	4,286	学校における人権教育の実践に関する研究委託及び補助	人権教育研究委託:7地区(7) 人権教育研究指定校: 小1校(2)、中1校(0) 人権教育総合推進地域:1地域(1) 人権教育研究委嘱校:中1校(1) 人権教育推進事業費補助:1団体(1)

施策の展開	当初予算額 (千円)	主 な 内 容	主 な 実 績
人権教育に関する教職員の研修	—	各種研修での人権教育に関する講座の実施及び指導資料の作成配付	初任者研修等での人権教育に関する講座の実施
社会教育における人権教育	2,552	人権に関する学習活動を推進するために必要な指導者の資質の向上を図るための社会教育関係者や PTA 関係者等への研修会の開催	〈中央研修会〉 開催地区:4 地区(4 地区) 参加者数:699 人(726 人) 〈地区研修会〉 開催会場:10 会場(10 会場) 参加者数:1,085 人(1,158 人)
■ 人権啓発の推進			
人権啓発の推進	25,822	「人権教育・啓発に関する愛知県行動計画」に基づく啓発行事や指導者研修会、新聞・交通広告等による啓発及び「あいち人権啓発プラザ」を拠点とした啓発業務の充実	〈第1回あいち人権講演会〉 開催日:平成27年12月6日(日) 開催地:刈谷市(刈谷市産業振興センター) 参加者数:143名 講演:「深刻化するネットいじめ～その現状と大人の役割～」 〈第2回あいち人権講演会〉 開催日:平成28年1月8日(金) 開催地:名古屋市(鯉城ホール) 参加人数:360名 映画上映:「チョコレートドーナッツ」 講演:「性的マイノリティーも働きやすい職場づくりのために」 〈あいち人権啓発プラザ〉 利用者数:2,610人(2,418人)

(3) いじめ・不登校等への対応の充実			
■ 未然防止と早期発見に向けた取組の充実			
施策の展開	当初予算額 (千円)	主 な 内 容	主 な 実 績
学校連携仲間づくり推進事業（新規） （再掲）	1,205	地域の仲間や異世代の人たちと連携・協働による豊かな心の育成と、特色ある学校づくりに取り組んでいけるよう、創意工夫ある取組の実践を委託	推進校:小3校、中3校 実践例:地域での老人会との交流、祭りや地域防災訓練への参加、福祉施設訪問、美化活動、挨拶運動等
道徳教育推進事業（明日を拓く人材育成事業）（再掲）	3,522	道徳教育資料「明日を拓く一人間としての在り方生き方を求めて」を活用した道徳教育の取組や様々な体験活動、社会貢献活動を行い、児童生徒の道徳性の向上を図る。	実践指定校として、県立高等学校8校、県立特別支援学校2校を指定し、道徳教育の実践や体験活動、地域貢献活動を行った。
いじめ問題についてのメッセージ発出	—	いじめ問題に関する知事のメッセージのWEBページへの掲載継続	Web ページアドレス： http://www.pref.aichi.jp/0000053040.html
■ 相談体制の充実			
スクールカウンセラー設置事業	662,487	問題行動の解決及び未然防止を図るためのスクールカウンセラーの学校への配置及び緊急事案への対応や経験の浅いスクールカウンセラーへの指導助言を行うためのスーパーバイザーの配置	〈スクールカウンセラー配置数〉 小:拠点校196校(189校) 中:306校(307校)[全校配置] 高:拠点校53校(30校) 〈スーパーバイザー〉 小・中担当:3名(3名) 高担当:2名(2名)
24時間いじめ電話相談事業（子ども SOS ほっとライン24）	8,354	臨床心理士や相談業務の経験があるボランティアによる、いじめ問題に悩む子どもや保護者への電話相談の実施	相談件数:10,401件(9,375件)
家庭教育コーディネーター設置事業	47,759	家庭教育コーディネーターによる不登校児童生徒や保護者への家庭訪問、相談・支援の実施及び乳幼児から中学生までの保護者を対象とする研修会の実施	コーディネーター設置人数:17人(17人) 〈家庭訪問、相談・支援〉 相談人数:113人(128人) 相談回数:4,483回(4,221回) 〈家庭教育研修会〉 実施回数:50回(50回) 参加者数:2,490人(2,317人)

施策の展開	当初予算額 (千円)	主 な 内 容	主 な 実 績
ホームフレン ド活動事業	687	家庭教育コーディネーターの助 言の下、大学生のホームフレン ドが不登校児童生徒に接するこ とで児童生徒の心の安定を図る	ホームフレンド人数:16人(16人) 訪問人数:45人(54人) 訪問回数:490回(520回)
ひきこもり対 策事業	12,319	ひきこもり状態に陥った者やそ の家族を相談や家族教室につな ぐ活動やひきこもり支援サポー ターによる家庭訪問の実施	相談件数:1,766件(1,933件) サポーター派遣回数:41回(51人)
子ども・若者 育成支援ネッ トワークの推 進	4,000	困難を抱える子ども・若者が円 滑な社会生活を送れるよう、市 町村において関係機関及び団体 等が連携して支援を行うネット ワークの整備促進	協議会あり方検討会 3回 普及推進タウンミーティング 2回

(4) 幼児教育の充実

■ 幼稚園・保育所等と小学校との連携強化

施策の展開	当初予算額 (千円)	主 な 内 容	主 な 実 績
幼・小・中学 校教職員研修	—	幼稚園の新規採用教員への研修 の実施及び幼・小・中学校の教 職10年経験者研修における、異 校種(園)訪問の実施	〈幼稚園等新規採用教員研修〉 参加者数:48人(53人) 〈教職10年経験者研修〉 参加者数:幼23人(16人) 小222人(222人) 中212人(200人)
学校連携仲間 づくり推進事 業(新規) (再掲)	1,205	地域の仲間や異世代の人たちと 連携・協働による豊かな心の育 成と、特色ある学校づくりに取 り組んでいけるよう、創意工夫 ある取組の実践を委託	推進校:小3校、中3校 実践例:地域での老人会との交 流、祭りや地域防災訓練への参 加、福祉施設訪問、美化活動、 挨拶運動等

■ 幼稚園・保育所等による子育て支援の充実

あいっこイ キイ子育て 支援地域交流 会の開催 (再掲)	1,112	家庭や地域の教育力の向上を図 るための子育て支援を考える地 域交流会の開催	開催地:6地区(6地区) [東郷町、蟹江町、常滑市、西尾 市、豊川市、東栄町] 参加者数:2,090人(2,329人)
--	-------	---	--

施策の展開	当初予算額 (千円)	主 な 内 容	主 な 実 績
認定こども園 の整備支援	—	子どもを安心して育てることができる体制を整備するため、幼児教育と保育を一体的に提供する「認定こども園」の創設を支援	整備費補助:2か所(2か所) 認定状況:20園(19園)[累計]
■ 幼児期の教育の在り方の検討・策定			
幼児教育の指 針の策定・周 知	—	平成24年度に策定した幼児教育指針の周知	・幼稚園等新規採用教員研修 ・教職10年経験者研修 ・幼稚園教育課程講座 ・園長等運営管理研修 ・保育技術講座 での周知

(5) 福祉教育の推進			
■ 交流・ボランティア活動の推進			
施策の展開	当初予算額 (千円)	主 な 内 容	主 な 実 績
学校連携仲間 づくり推進事 業(新規) (再掲)	1,205	地域の仲間や異世代の人たちと連携・協働による豊かな心の育成と、特色ある学校づくりに取り組んでいけるよう、創意工夫ある取組の実践を委託	推進校:小3校、中3校 実践例:地域での老人会との交流、祭りや地域防災訓練への参加、福祉施設訪問、美化活動、挨拶運動等
道徳教育推進 事業(明日を 拓く人材育成 事業)(再掲)	3,522	道徳教育資料「明日を拓く一人間としての在り方生き方を求めて」を活用した道徳教育の取組や様々な体験活動、社会貢献活動を行い、児童生徒の道徳性の向上を図る。	実践指定校として、県立高等学校8校、県立特別支援学校2校を指定し、道徳教育の実践や体験活動、地域貢献活動を行った。
高等学校と特 別支援学校高 等部の併設	—	ノーマライゼーションの理念を実現するため、高等学校に特別支援学校高等部を併設し、障害のある生徒とない生徒の交流を図る	併設校: 桃陵高等学校- 半田特別支援学校桃花校舎 宝陵高等学校- 豊川特別支援学校本宮校舎 田口高等学校- 豊橋特別支援学校山嶺教室

施策の展開	当初予算額 (千円)	主 な 内 容	主 な 実 績
肢体不自由児 スクールクラ スターモデル 事業	1,775	地域の教育資源を効果的に組み 合わせるにより、障害のある 児童生徒一人一人のニーズに 適切に対応した教育を実施する ための研究の実施	指定学校:特2校(3校) 小2校(4校) 中1校(0校) ※特別支援学校は肢体不自由特 別支援学校を指定
■ 社会福祉に貢献できる人材の育成			
教科「福祉」 を通した地域 福祉を担う人 材の育成	—	高等学校福祉科、総合学科福祉 系列、普通科福祉実践コース設 置校での将来の地域福祉を担う 人材の育成	福祉科設置校:4校(4校) 総合学科福祉系列設置校:4校(4校) 普通科福祉実践コース設置校:2校(2校)
福祉教育充実 のための社会 福祉協議会の 活動支援	17,015	愛知県社会福祉協議会が行う福 祉実践教室や体験学習、福祉読 本の作成・配布等の活動を支援	福祉実践教室:1,048校(1,053校) 福祉読本:93,000冊(97,000冊)
認知症サポ ーター養成講座 の開催	—	認知症の人やその家族を家庭で 支える社会の推進を図るための 小・中学生を対象とした認知症 サポーター養成講座の開催	開催市町村:39市町村(34市町村)

(6) 安全教育の推進

■ 実践的な安全教育の充実

施策の展開	当初予算額 (千円)	主 な 内 容	主 な 実 績
子どもの安全 確保推進事業	303	防犯意識や危機回避能力の向上 を図るための小学校への防犯少 年団モデル校の委嘱及び防犯少 年団員の任命並びに子ども安全 アカデミーの開催	防犯少年団モデル校:44校(44校) 防犯少年団員:433人(423人) 子ども安全アカデミー: 平成27年8月25日(火)開催
自転車シミュ レータを活用 した参加体験 型講座の実施	952	児童、生徒に自転車の正しい交 通ルールを学ばせるための参加 体験型の講座の実施	実施校:小6校(8校) 中2校(3校) 高2校(2校)

施策の展開	当初予算額 (千円)	主 な 内 容	主 な 実 績
自転車安全運転利用モデル校の指定	—	自転車安全運転利用モデル校の指定及び自転車教室の開催、交通危機マップの作成	モデル校：小 44 校(44 校) 中 44 校(44 校) 高 44 校(44 校)
防災教育推進事業(防災教育指導者研修会の開催)	38	教職員の危機管理意識の高揚、児童生徒に対する危険予測・危機回避能力の育成、地域と学校の連携を図るための研修会の実施	参加者数：459 人(1,372 人) 対象者：公立小・中学校及び県立学校
防災教育推進事業(防災パンフレットの作成)	—	地震に関する正しい知識を習得させ、防災意識を高めるためのパンフレット利活用	小学校低学年用・高学年用、中学校用、高校用を作成、Web ページに掲載
■ 災害発生に備えた人材の育成			
高校生防災リーダーの育成	79	防災に関する幅広い知識を持った人材や地域防災を主体的に進めることのできる人材を育成するための大学と連携したセミナーの実施	連携大学：名古屋大学 セミナー回数：5 回(5 回) 参加校数：30 校(30 校) 参加生徒数：119 人(120 人)
防災キャンプの実施(再掲)	1,000	青少年の防災教育及び地域のきずなづくり等を推進するために、体験型の防災プログラムを実践する防災キャンプの実施	実施市町村：2 市[豊田市、豊川市](3 市町) 参加者数：1,096 人 [2 市合計] (747 人[3 市町合計]) 内容：学校や社会教育施設等を避難所とした生活体験 等 事例発表会参加者数：75 人(75 人)

重点目標 2 発達段階に応じたキャリア教育を充実します。

(1) キャリア教育の推進

■ キャリア教育の推進体制づくり

施策の展開	当初予算額 (千円)	主 な 内 容	主 な 実 績
キャリア教育 会議の開催	68	有識者や経済団体、保護者の代表を交えて本県が進めるべきキャリア教育の在り方を検討	委員:14人(14人) 開催回数:年1回(1回) ※小中学校、高等学校、特別支援学校ごとに部会を設置
キャリア教育 ノートの活用 促進	—	平成23年度に作成したキャリア教育ノートを活用した、各学校でのキャリア教育の推進を小・中・高等学校及び市町村教育委員会に依頼	キャリア教育ノートの活用状況: 小 72.8%(71.5%) 中 71.9%(68.1%) [活用している又は活用予定の学校] 高 47.2%(53.4%) [活用している学校]
「あいち夢はぐくみサポーター」の活用	—	児童生徒のキャリア教育を支援する県内の事業所や団体を「あいち夢はぐくみサポーター」として認証・登録	登録件数: 1,495件(1,241件)
キャリア教育 参画プランの 作成	—	企業がキャリア教育に参画する際の手引きとなる「インターシップ・職場体験・職場見学受け入れBOOK」の普及	関係機関への配布及びホームページへの掲載
男女共同参画 の推進	102	男女共同参画に対する理解を促進するための作品募集や講演会等の普及啓発活動の実施	〈はがき1枚からの男女共同参画〉 応募数:540件(1,542件)
理系女子進路 選択の支援 (新規)	981	女子中高生の理系分野への興味や関心を喚起するためのシンポジウムを開催	開催日:平成27年8月20日 場所:ウィルあいち 参加者:680名
■ 職場体験活動・インターンシップ等の推進			
「地域に学び・語り継ぐキャリア教育推進事業」	2,262	地域講師に学ぶ体験活動や講話を通して深めた考えを語り継ぐ場をもつことで、各学年の発達段階に応じたキャリア教育を実施	参加校:18校 参加者:3,442人(3,674人) [名古屋市を除く県内18市町村各1校]

施策の展開	当初予算額 (千円)	主 な 内 容	主 な 実 績
「あいち・出会いと体験の道場」推進事業	15,351	学校と地域が連携して中学校 2 年生を中心に 5 日間程度の職場体験等を実施	参加校:306 校(307 校) 参加者数:50,489 人(51,277 人) [名古屋市を除く全公立中学校]
県立高校におけるインターンシップ等の推進	6,079	全ての全日制高校でのインターンシップ等の実施及び専門高校等での、プロフェッショナルの指導による講座の実施	〈インターンシップ等〉 実施校:全日制 146 校(146 校) 参加生徒数:12,704 人(11,286 人) 〈キャリアリンク講座〉 実施校:83 校 88 学科 (83 校 88 学科) 時間数:222 時間(176 時間) 〈地域ものづくりスキルアップ講座〉 実施校:17 校(17 校)
あいち理数教育推進事業	2,788	大学等と連携した高度な理数教育の実施及び成果の全校への普及	〈知の探究講座〉 参加校:52 校 162 人(50 校 148 人) 〈あいち科学の甲子園〉 チーム競技参加:22 校 34 チーム (19 校 28 チーム)
「大学と県教育委員会との連携推進会議」の開催	—	県内全ての 4 年制大学や私立高校関係者、県教育委員会が相互の連携に向けた意見交換を行う会議の開催	開催:年 1 回(1 回)
「あいちの学校連携ネット」の運用	185	大学が行う高校生向けの講座情報など、県内全ての 49 大学と高等学校・特別支援学校・市町村教育委員会とをつなげる情報の掲載	開設:平成 24 年 3 月 アクセス数:31,519 件(31,967 件)
あいちの大学「学び」フォーラムの開催	—	大学教員の専門的な講義を通して、生徒が進路選択について考えるきっかけづくりとする講座を開催	講座数:15 講座(22 講座) 参加生徒等数:314 人(407 人)

施策の展開	当初予算額 (千円)	主 な 内 容	主 な 実 績
特別支援学校におけるキャリア教育の推進	775	小学部での学校近隣の商店や工場で働く人を見学する「ふれあい発見推進事業」及び中学部での地域の職場の見学や簡単な作業などを体験する「チャレンジ体験推進事業」、高等部において県立学校での就業体験を行う「県立学校職場実習」の実施	<p>〈ふれあい発見推進事業〉 実施校数:23校(23校) 実施人数:216人(263人)</p> <p>〈チャレンジ体験推進事業〉 実施校数:23校(23校) 実施人数 322人(245人)</p> <p>〈就労支援推進事業〔県立学校職場実習〕〉 実施校数:18校(18校) 実施人数 233人(227人)</p>
県立の大学におけるキャリア教育の支援	—	学生が早い段階から将来への目的意識を明確に持ち、自己の将来設計を考えられるよう、就職や自立に向けたキャリア教育に積極的に取り組む	<ul style="list-style-type: none"> ・常勤のキャリアカウンセラーによる就職相談 ・各種セミナーの実施 ・就職支援システムの導入 ・キャリア支援科目の充実 ・インターンシップ機会の充実 ・合同企業説明会の開催 等
■ 多様なニーズに対応した就業支援の充実			
若年者等の就職の促進	1,503,730	学校や市町村等との連携による若年者等への就職支援の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・あいち若者職業支援センター おおむね 45歳未満の若者を対象に就職相談、就職支援セミナー等を実施 ・若年者就職相談窓口 県内 13市町と連携して就職相談窓口を設置 ・離転職者訓練 受講者:395人(396人) ・雇用セーフティネット対策訓練 受講者:4,463人(4,826人) ※平成 26年度からの繰越者 595人を除く

(2) 産業教育の充実			
■ 高等学校における産業教育の充実			
施策の展開	当初予算額 (千円)	主 な 内 容	主 な 実 績
愛知総合工科 高等学校の設 置	12,535,216	本県の工業教育の中核となる高 等学校を設置準備 開校:平成28年4月 建設地:名古屋市千種区[元県立 東山工業高等学校]	建設工事(Ⅱ期)、体育館等改 修工事、環境整備工事等、初度 備品整備 運営委員会開催:2回(専門委員 会開催:2回) 作業部会開催:10回(4回) 実習先開拓のための企業訪問
産業教育設備 の整備	69,955	県立高等学校専門学科における 産業教育のための実験実習用設 備の整備	新規整備:26校(22校) 設備更新等:32校(24校)
職業教育技術 認定制度	800	一定条件以上の資格等を取得し た生徒への知事からの顕彰及び 県独自の検定試験の合格者への 合格証書の授与	知事顕彰者:8,217人(8,443人) 検定合格者:3,864人(4,260人)
「地域振興」 「観光」など の教育課程の 検討	—	産業構造の多様化に対応するた めの、県立高等学校での「地域 振興」や「観光」をテーマとし た教育課程を実施	観光ビジネスコース設置校:1校
■ 高等学校・高等技術専門校・企業の連携強化			
地域ものづく りスキルアッ プ講座	3,426	工業高校の教育課程に地域の企 業との連携プログラムを組み込 み、産業界のニーズを踏まえた 実践的な技能取得を目指す	実施校数:17校(17校) 参加生徒数:199人(174人)
■ 人材育成機能の強化			
高等技術専門 校におけるモ ノづくり人材 育成	163,638	高等技術専門校の訓練につい て、モノづくり関連分野を核と した訓練体系への移行を進める	東三河高等技術専門校に建築総 合科を開設 受講者:6校540人(6校541人)

施策の展開	当初予算額 (千円)	主 な 内 容	主 な 実 績
中小企業人材育成モデルの普及・活用	—	平成23年度に作成した中小企業人材育成モデルの普及啓発	関係機関への配布及びホームページへの掲載
■ 技術・技能を尊重する機運の醸成			
モノづくり魂浸透事業 (新規)	5,762	県内小・中学校及び特別支援学校において、技能五輪メダリスト等、モノづくりのプロフェッショナルを講師とした出前授業実施	小35校、中8校、特7校

(3) 世界を舞台に活躍できる人づくり

■ 外国語教育・国際理解教育の充実

施策の展開	当初予算額 (千円)	主 な 内 容	主 な 実 績
英語の授業改善	198,528	外国語指導助手(ALT)等の配置及び拠点校を中心に地域全体の英語力の強化を図る「スーパーイングリッシュハブスクール」事業の実施	外国語指導助手配置： 41人(36人) 在県外国人語学講師配置： 13人(13人) ハブスクール：12校
イングリッシュキャンプ in あいち	5,143	さまざまな国のの人たちとオールイングリッシュの共同生活を送ることで、英語に対する自信と興味・関心を高めるとともに、異文化体験を通して相互理解の大切さを学ばせる	〈サマーキャンプ〉 開催時期：平成27年7月31日(金) ～8月4日(火) 平成27年8月24日(月)～28日(金) 参加者数：前期：79人(80人)、後期：80人(76人) 〈ウインターキャンプ〉 開催時期：平成27年12月23日(水)～27日(日) 参加者数：78人(78人)
県立学校における国際交流活動の実施	—	県立高等学校、特別支援学校において、海外の姉妹・友好提携校との間で国際交流活動を実施	相互の学校訪問、夏季休業中の人的交流、インターネットを通じた交流、作品交流 等
高校生の留学促進事業	14,695	高校生が主体的にチャレンジする海外短期留学等を実現するための費用を助成する「高校生海外チャレンジ促進事業」の実施及び原則1年間外国の正規の後期中等教育機関に通う生徒を対象とした留学支援金の給付	〈高校生海外チャレンジ促進事業〉 応募者：35人(33人) 補助金支給者：20人(20人) 〈留学支援金の給付〉 応募者：23人(28人) 給付対象者：15人(14人)

施策の展開	当初予算額 (千円)	主 な 内 容	主 な 実 績
国際理解コースや国際コミュニケーションコース等での取組	—	異文化理解を目的とした海外の学校との交流活動や、英語によるコミュニケーション能力の育成を目的とした海外語学研修などの取組の実施	国際教養科：3校(3校) 普通科国際理解コース：4校(4校) 普通科国際コミュニケーションコース： 2校(2校)
近隣アジア諸国の言語教育の推進	—	アジア諸国との交流の拡大を踏まえた、中国語や韓国・朝鮮語などを学習できる機会の拡大	〈講座開設学校数〉 中国語：10校(10校) 韓国・朝鮮語：4校(4校)
ふるさと遺産サポート事業	605	住民や子どもたちが郷土の自然や文化財を未来に守り伝える環境を整えるための、保存団体による伝統文化出張講座の開催や天然記念物である「木曾川堤(サクラ)」の観察講座の実施	伝統文化出張講座 講座数:小3校(3校) [実施校]-[実施団体] ・春日井市立大手小学校-伊多波刀神社奉納流鏑馬保存会 ・常滑市立三和小学校-矢田萬歳保存会 ・半田市立成岩小学校-半田市成岩第四区獅子保存会 「木曾川堤(サクラ)」の観察講座 ・愛知教育大学渡邊幹男教授による講義及び木曾川堤での観察講座
道徳教育推進事業(明日を拓く人材育成事業)(再掲)	3,522	道徳教育資料「明日を拓く一人間としての在り方生き方を求めて」を活用した道徳教育の取組や様々な体験活動、社会貢献活動を行い、児童生徒の道徳性の向上を図る。	実践指定校として、県立高等学校8校、県立特別支援学校2校を指定し、道徳教育の実践や体験活動、地域貢献活動を行った。
ユネスコスクールの継続的支援	5,755	ESDの推進拠点であるユネスコスクールの在り方やネットワーク化等を助言・指導するためのユネスコスクール支援会議を設置するとともに、ユネスコスクールの活動を支援するために関係機関との連携推進及びユネスコスクールのネットワークを構築するための交流会を実施	講師派遣：15校 交流会の開催：参加者300名 活動事例集の作成・配付： 1800部 〈ユネスコスクール加盟状況〉 加盟校:160校(155校)[累計] 加盟申請校:3校(1校) [平成28年3月末現在]

施策の展開	当初予算額 (千円)	主 な 内 容	主 な 実 績
英語教育に関する教員研修の充実	39	大学との連携による英語教育に関する教員研修の実施	小学校外国語活動講座：1日(1日) 高等学校10年経験者研修： 英語2日(2日) 中学校10年経験者研修： 英語1日(1日)
■ 世界で活躍できる知性や技術・技能の育成			
あいち理数教育推進事業(再掲)	2,788	大学等と連携した高度な理数教育の実施及び成果の全校への普及	〈知の探究講座〉 参加校：52校162人(50校148人) 〈あいち科学の甲子園〉 チーム競技参加：22校34チーム (19校28チーム)
愛知総合工科高等学校の設置(再掲)	12,535,216	本県の工業教育の中核となる高等学校の設置準備 開校：平成28年4月 建設地：名古屋市千種区[元県立東山工業高等学校]	建設工事(Ⅱ期)、体育館等改修工事、環境整備工事等、初度備品整備 運営委員会開催：2回(専門委員会開催：2回) 作業部会開催：10回(4回) 実習先開拓のための企業訪問

重点目標3 学習意欲の向上を図り確かな学力を育成します。

(1) 個に応じたきめ細かな指導の充実

■ きめ細かな指導の充実

施策の展開	当初予算額 (千円)	主な内容	主な実績
少人数教育対応教員の配置	〈小学校費〉 職員給与 178,495,859 報酬 2,342,405 〈中学校費〉 職員給与 97,412,975 報酬 1,904,162 の一部	きめ細かな指導を実施するための、小学校第1学年、第2学年及び中学校第1学年での少人数学級(35人編制)の継続実施及び少人数指導教員の継続配置	少人数学級実施校: 50市町村625校702学級増 (50市町村642校731学級) 少人数指導教員配置数: 小:専任教員653人(653人) 非常勤講師193人(199人) 中:専任教員708人(707人) 非常勤講師240人(250人)
「大学と県教育委員会との連携推進会議」の開催(再掲)	—	県内全ての4年制大学や私立高校関係者、県教育委員会が相互の連携に向けた意見交換を行う会議の開催	開催:年1回(1回)
「あいちの学校連携ネット」の運用(再掲)	185	大学が行う高校生向けの講座情報など、県内すべての49大学と高等学校・特別支援学校・市町村教育委員会とをつなげる情報の掲載	開設:平成24年3月 アクセス数:31,519件(31,967件)
■ 全国学力・学習状況調査の活用			
全国学力・学習状況調査の活用	—	全国学力・学習状況調査の結果を指導の改善に生かすための「学力・学習状況充実プラン」の作成・配布による市町村や学校への支援	〈学力・学習状況充実プラン〉 配布先:県内全公立小・中学校 配布方法:電子データによる配付及びWebによる配信

■ 学ぶ楽しさを味わわせる取組の充実			
施策の展開	当初予算額 (千円)	主 な 内 容	主 な 実 績
あいち「授業づくり人材バンク」の運用による外部人材の活用	—	小・中学校の授業づくりに優れた外部人材を登録し、市町村での児童生徒の学習意欲の向上や教師の授業力の向上に関する取組に活用してもらうための人材バンクの運用	〈あいち「授業づくり人材バンク」〉 運用開始:平成23年5月 登録数: 「授業名人」34人(45人) 「達人」19人(29人) 企業14社(13社) NPO法人9法人(9法人)
社会人特別非常勤講師配置事業	10,406	教員免許は持たないが、各分野において幅広い経験や優れた知識・技術を持つ地域の専門家や社会人を「特別非常勤講師」として活用	小学校: 174校、206人、2,395時間 (165校、218人、2,360時間) 中学校: 65校、69人、1,077時間 (65校、69人1,051時間)
放課後子ども教室推進事業	268,957	放課後や週末等に余裕教室等を活用して子どもの安全・安心な活動場所を確保し、地域の様々な方の参画を得て、学習や多様な体験・交流活動の機会を提供する市町村の活動への支援	放課後子ども教室等設置数: 放課後子ども教室 30市町251教室 (30市町238教室) 土曜日等の教育支援 7市74講座
■ 若い世代の教員の授業力の向上			
あいち「授業づくり人材バンク」の運用による外部人材の活用(再掲)	—	小・中学校の授業づくりに優れた外部人材を登録し、市町村での児童生徒の学習意欲の向上や教師の授業力の向上に関する取組に活用してもらうための人材バンクの運用	〈あいち「授業づくり人材バンク」〉 運用開始:平成23年5月 登録数: 「授業名人」34人(45人) 「達人」19人(29人) 企業14社(13社) NPO法人9法人(9法人)

(2) 魅力ある県立学校づくり			
■ 生徒の多様なニーズへの対応の充実			
施策の展開	当初予算額 (千円)	主 な 内 容	主 な 実 績
総合学科、普通科コース制の設置等	—	通学可能な範囲に総合学科がない地域への設置及び時代のニーズに応じたコースの新設・改編の検討	総合学科：9校(9校) 普通科コース制：23校 25コース (23校 25コース) 平成27年度から海翔高校環境コースを環境防災コースに改編
単位制による複数部制の定時制・通信制高校の設置検討	—	自分のペースに合わせて学ぶことができる、単位制による複数部制(昼間部・夜間部)の定時制高校の設置に関する検討	開校予定：平成29年4月 開校予定地：県立愛知工業高等学校内 開設準備委員会を設置し、使用施設、教育課程、学校の特色づくり等について検討
愛知総合工科高等学校の設置(再掲)	12,535,216	本県の工業教育の中核となる高等学校の設置準備 開校：平成28年4月 建設地：名古屋市千種区[元県立東山工業高等学校]	建設工事(Ⅱ期)、体育館等改修工事、環境整備工事等、初度備品整備 運営委員会開催：2回 作業部会開催：10回(4回) 実習先開拓のための企業訪問
■ 魅力と特色のある学校づくり			
県立高等学校教育推進実施計画の策定(新規)	822	平成27年3月策定の「県立高等学校教育推進基本計画」を踏まえ、10年間のうちの前半の5年間の計画期間とする「県立高等学校教育推進実施計画」を策定	平成28年2月策定 〈実施計画策定会議〉 委員：県立高等学校長等委員 16名 開催回数：6回
道徳教育推進事業(明日を拓く人材育成事業)(再掲)	3,522	道徳教育資料「明日を拓く一人間としての在り方生き方を求めて」を活用した道徳教育の取組や様々な体験活動、社会貢献活動を行い、児童生徒の道徳性の向上を図る。	実践指定校として、県立高等学校8校、県立特別支援学校2校を指定し、道徳教育の実践や体験活動、地域貢献活動を行った。

施策の展開	当初予算額 (千円)	主 な 内 容	主 な 実 績
地域ものづくりスキルアップ講座(再掲)	3,426	<p>大学や企業と連携した子どもたちの高度な知識・資格取得を目指す取組</p> <p>〈技の探究講座Ⅱ〉</p> <p>モノづくりの技術・技能に関する比較的難易度の高い資格の取得を目指す</p> <p>〈クラフトマンⅡ〉</p> <p>地域の産業界のニーズを踏まえた実践的な技術・技能の習得のための長期間の現場実習</p>	<p>〈技の探究講座Ⅱ〉</p> <p>講座数:5 講座(5 講座)</p> <p>参加者数:51 人(47 人)</p> <p>〈クラフトマンⅡ〉</p> <p>講座数:52 講座(50 講座)</p> <p>参加者数:148 人(127 人)</p>
高等学校と特別支援学校高等部の併設(再掲)	—	ノーマライゼーションの理念を実現するため、高等学校に特別支援学校高等部を併設し、障害のある生徒とない生徒の交流を図る	<p>併設校:</p> <p>桃陵高等学校-</p> <p>半田特別支援学校桃花校舎</p> <p>宝陵高等学校-</p> <p>豊川特別支援学校本宮校舎</p> <p>田口高等学校-</p> <p>豊橋特別支援学校山嶺教室</p>
■ 高大連携による学習意欲の向上			
あいち理数教育推進事業(再掲)	2,788	大学等と連携した高度な理数教育の実施及び成果の全校への普及	<p>〈知の探究講座〉</p> <p>参加校:52校 162人(50校 148人)</p> <p>〈あいち科学の甲子園〉</p> <p>チーム競技参加:22校 34チーム</p> <p>(19校 28チーム)</p>
「大学と県教育委員会との連携推進会議」の開催(再掲)	—	県内全ての4年制大学や私立高校関係者、県教育委員会が相互の連携に向けた意見交換を行う会議の開催	開催:年1回(1回)
「あいちの学校連携ネット」の運用(再掲)	185	大学が行う高校生向けの講座情報など、県内全ての49大学と高等学校・特別支援学校・市町村教育委員会とをつなげる情報の掲載	<p>開設:平成24年3月</p> <p>アクセス数:31,519件(31,967件)</p>

施策の展開	当初予算額 (千円)	主 な 内 容	主 な 実 績
あいちの大学 「学 び」 フォーラムの 開催 (再掲)	—	大学教員の専門的な講義を通して、生徒が進路選択について考えるきっかけづくりとする講座を開催	講座数:15 講座(22 講座) 参加生徒等数:314 人(407 人)
■ 中高一貫教育の実施			
中高一貫教育 の実施	1,039	6年間の計画的・継続的な、特色ある学習を進めることで、地域に根差した人材育成を図るため、北設楽地区と作手地区で連携型中高一貫教育を推進	実施校: 〈北設楽地区〉 田口高校、設楽中学校、津具中学校、豊根中学校[平成16年度から]に加えて、平成26年度から東栄中学校が参加 〈作手地区〉 新城東高校作手校舎(旧作手高校)、作手中学校[平成22年度から]

(3) 理数教育の推進			
■ 興味・関心、知的探究心を高める取組の推進			
施策の展開	当初予算額 (千円)	主 な 内 容	主 な 実 績
知の拠点あいち 集客促進等 事業	384	将来の科学技術を担う子どもたちにモノづくりの楽しさや科学の不思議を体験してもらうための科学教室の実施等	〈こども科学教室〉 平成27年8月19日(水)77名 8月22日(土)74名 8月26日(水)62名 8月30日(日)69名 〈サイエンスフェスタ2016〉 平成28年3月19日(土)57名
■ 高等学校の高度な理数教育の推進			
あいち理数教育 推進事業 (知の探究講座)	2,174	大学と連携し、高等学校で学べない先進的な理数教育を受ける機会を高校生に提供	講座数:6講座(6講座)[名古屋大学、愛知教育大学、名古屋工業大学、豊田工業大学、愛知県立大学、豊橋技術科学大学] 参加者数:162人(148人)

施策の展開	当初予算額 (千円)	主 な 内 容	主 な 実 績
あいち理数教育推進事業 (あいち科学の甲子園)	614	科学好きのすそ野を広げるために、数学、理科、情報、科学技術等の知識・技能を用いて、実生活に関連した課題等に取り組む機会を設けるとともに、「科学の甲子園全国大会」に参加する県代表チームを選考	〈トライアルステージ〉 開催日:平成27年10月24日(土) 参加チーム数:22校34チーム (19校28チーム) 〈グランプリステージ〉 開催日:平成28年1月23日(土) 〈科学の甲子園全国大会〉 開催日:平成28年3月18日(金) ～平成28年3月21日(月) 開催地:茨城県つくば市

(4) 読書活動の推進			
■ 読書に親しむ態度の育成			
施策の展開	当初予算額 (千円)	主 な 内 容	主 な 実 績
幼稚園における読み聞かせ体験の充実	—	読書活動の推進についての各市町村教育委員会への周知・啓発	絵本や紙芝居の読み聞かせ体験など、各市町村及び園の実情に応じた取組の実施
「みんなにすすめたい一冊の本」などの活用による読書活動の推進	—	読書活動の取組の手段の一つとして平成21年度に作成した「みんなにすすめたい一冊の本」の活用を周知・啓発	〈みんなにすすめたい一冊の本〉 作成年度:平成21年度 内容:本県ゆかりの著名人50名の心に残った本等を紹介 Web ページ掲載
「子ども読書の日」などの普及	—	子ども読書の日や文字・活字文化の日の周知・普及、子ども読書週間や読書週間において学校で読書の時間を設けたりするなど子どもの読書活動を推進	全校一斉読書の実施率: 小99%(98%) 中95%(97%) (いずれも名古屋市除く)
青少年により本をすすめる県民運動	139	優良図書の読書感想文の募集や県書店商業組合の協賛による学校への図書等の寄贈	強調月間:10月1日～10月31日 感想文応募点数: 22,884点(23,288点) 図書寄贈数:90校、約1,500冊 (90校、1,800冊)

施策の展開	当初予算額 (千円)	主 な 内 容	主 な 実 績
司書教諭などによる学校図書館の活用促進	40	県立高等学校の司書教諭を対象とした研修会の実施	参加者：49名(50名)
読書活動推進計画の策定・推進	366	愛知県子ども読書活動推進計画(第三次)の推進	<ul style="list-style-type: none"> 子ども読書活動推進大会の開催 開催日：平成27年11月6日 開催場所：愛知県図書館 参加者：118名 高校生向け啓発リーフレットの発行 平成27年7月、12月 県立学校と図書館連携モデル事業の実施 愛知県図書館との連携3校、市町村立図書館との連携1校 愛知県学校図書館活性化事業フォーラムの開催 開催費：平成28年2月5日 開催場所：愛知県図書館 参加者：106名
■ 図書館機能の向上			
学校図書館ボランティアとの協働による図書館機能の向上	—	家庭や地域、公共図書館などに、学校図書館ボランティアへの参加奨励及び学校図書館での活用促進	学校図書館でのボランティア活用状況：小91%(90%) 中38%(37%)
県図書館のセンター館としての活動	3,417	県内の図書館への資料の貸し出しや、県内の図書館や学校への研修や相談による支援	市町村図書館等への資料貸出：20,282冊・点(18,313冊・点)

(5) 情報教育の充実			
■ 情報活用能力の向上			
施策の展開	当初予算額 (千円)	主 な 内 容	主 な 実 績
児童生徒の ICT 利活用のための環境整備	219,551	第3期情報化推進計画に基づく児童生徒用パソコンの更新整備	新規整備台数: 高 418 台 (0 台) 更新台数: 高 63 台 (3,035 台) 特 18 台 (45 台) 配備台数: 高 9,160 台 (8,742 台) 特 241 台 (241 台)
専門機関によるネットパトロールの実施 (再掲)	8,479	全ての県立学校を対象としたインターネット掲示板等における不適切な書き込み等の検索	検出件数:3,314 件 (うち緊急性が高いと判断される書き込みについて、学校と教育委員会が連携して早期に対応し、問題を未然に防止)
道徳教育総合推進サイト「モラルBOX」での情報モラルに関する情報の発信 (再掲)	—	情報モラル教育も含めた、道徳教育に関する学校の実践などを掲載し、家庭・地域・学校に発信するための Web サイトの運営	情報モラル教育実践掲載:338 件
■ わかりやすく理解が深まる授業への支援の充実			
授業における ICT 利活用のための環境整備	24,340	第3期情報化推進計画に基づく、プロジェクタ等の配備	配備台数 プロジェクタ:高 1,077 台 (1,004 台) 特 72 台 (72 台) タブレット型端末:特 80 台 (0 台)
研修事業	74	教員の ICT 活用指導力の向上を図るための研修の実施	拠点職員巡回指導 実施講座名 「県立学校教育情報化推進巡回講座」:10 校 (10 校) 県立学校情報化推進研修: 182 人 (181 人)

(6) 多文化共生社会の実現に向けた教育の推進			
■ 学校における外国人児童生徒への対応の充実			
施策の展開	当初予算額 (千円)	主 な 内 容	主 な 実 績
日本語教育適応学級担当教員の配置	〈小学校費〉 職員給与 178,495,859 〈中学校費〉 職員給与 97,412,975 の一部	日本語教育が必要な帰国・外国人児童生徒に対する教育の充実を図るための日本語教育適応学級担当教員の配置	配置数:小 284 人(245 人) 中 131 人(117 人) 学級数:小 189 学級(164 学級) 中 67 学級(69 学級)
語学相談員の配置	36,237	ポルトガル語、スペイン語及びフィリピン語の語学相談員を教育事務所に配置し、外国人児童生徒の在籍する小・中学校等へ派遣	配置数:ポルトガル語 4 人(4 人) スペイン語 5 人(2 人) フィリピン語 2 人(0 人) 訪問指導:小延 2,195 回(842 回) 中延 848 回(226 回)
外国人生徒サポート事業	24,675	日本語によるコミュニケーション能力が十分でない外国人生徒の学習支援、教材や配付物の翻訳、通訳等を行うサポーターの配置	対象生徒数:245 人(238 人) サポーター配置:延 61 人(55 人)
教員等に対する「外国人児童生徒教育講座」の実施	33	外国人児童生徒教育を担当する小・中・高等学校、特別支援学校教員を対象に大学教員等を講師とした専門的な知識を身に付ける研修の実施	対象教員数:52 人(52 人) 集合研修:2 日間(2 日間) ※事前に e ラーニング研修
外国語堪能者、英語有資格者に対する特別選考	—	教員採用選考試験において、外国語が堪能である者や英語の資格を有する者に対する特別選考を実施	〈合格者数〉 外国語堪能者選考:8 人(3 人) 英語有資格者特別選考: 17 人(26 人)
住民基本台帳の活用などによる外国人児童生徒の就学の推進	—	文部科学省通知「外国人の子どもの就学機会の確保に当たっての留意事項について」の市町村への周知及び語学相談員の学校訪問時等の啓発	配置数:ポルトガル語 4 人(4 人) スペイン語 5 人(2 人) フィリピン語 2 人(0 人) 訪問指導:小延 2,195 回(842 回) 中延 848 回(226 回)

施策の展開	当初予算額 (千円)	主 な 内 容	主 な 実 績
外国人児童生徒の進学支援等	—	入学説明会や進路相談、個人懇談会での通訳として県の語学相談員の活用及び、高等学校入学者選抜における特別選考の実施、海外帰国生徒の高等学校編入学の随時受入れの実施など	〈外国人生徒及び中国帰国生徒等に係る入学者選抜〉 実施校:9校(4校) 志願者:43人(34人) 合格者:24人(21人)
■ 地域における日本語学習等支援の充実			
「日本語学習支援基金」の活用による日本語教室などの支援	30,211	平成20年6月に創設した「日本語学習支援基金」を活用した、地域の日本語教室などの支援	〈外国人児童生徒の支援〉 助成団体数:51団体 74教室 (54団体 80教室) 〈外国人学校への支援〉 日本語指導者雇用助成: 6校(8校)
プレスクールの設置促進	115	プレスクールの設置促進に向けた説明会の開催	開催回数:1回(1回) プレスクール実施市町村: 15市町村(15市町村)
多文化ソーシャルワーカーによる在住外国人の支援	21,873	あいち国際プラザ多文化共生センターにおいて、多文化ソーシャルワーカーによる外国人県民からの相談への対応及び複雑な問題を抱える外国人に対する個別支援	相談・情報提供件数: 646件(700件) 個別支援件数:9件(9件)
■ 国際理解教育の充実			
県立学校における国際交流活動の実施(再掲)	—	県立高等学校、特別支援学校において、海外の姉妹・友好提携校との間で国際交流活動を実施	相互の学校訪問、夏季休業中の人的交流、インターネットを通じた交流、作品交流 等
国際理解コースや国際コミュニケーションコース等での取り組み(再掲)	—	異文化理解を目的とした海外の学校との交流活動や、英語によるコミュニケーション能力の育成を目的とした海外語学研修などの取組の実施	国際教養科:3校(3校) 普通科国際理解コース:4校(4校) 普通科国際コミュニケーションコース: 2校(2校)

施策の展開	当初予算額 (千円)	主 な 内 容	主 な 実 績
近隣アジア諸国の言語教育の推進(再掲)	—	アジア諸国との交流の拡大を踏まえた、中国語や韓国・朝鮮語などを学習できる機会の拡大	〈講座開設学校数〉 中国語：10校(10校) 韓国・朝鮮語：4校(4校)
ふるさと遺産サポート事業(再掲)	605	住民や子どもたちが郷土の自然や文化財を未来に守り伝える環境を整えるための、保存団体による伝統文化出張講座の開催や天然記念物である「木曾川堤(サクラ)」の観察講座の実施	伝統文化出張講座 講座数:小3校(3校) [実施校]- [実施団体] ・春日井市立大手小学校-伊多波刀神社奉納流鏑馬保存会 ・常滑市立三和小学校-矢田萬歳保存会 ・半田市立成岩小学校-半田市成岩第四区獅子保存会 「木曾川堤(サクラ)」の観察講座 ・愛知教育大学渡邊幹男教授による講義及び木曾川堤での観察講座

(7) 特別支援教育の充実

■ 特別支援教育体制の充実

施策の展開	当初予算額 (千円)	主 な 内 容	主 な 実 績
通級指導教室担当教員の配置	〈小学校費〉 職員給与 178,495,859 〈中学校費〉 職員給与 97,412,975 の一部	小・中学校の通常の学級に在籍する発達障害を含む障害のある児童生徒に対する指導を行うための通級指導教室担当教員の配置	配置人数：小237人(227人) 中19人(17人)
障害種別特別支援学級の設置	〈小学校費〉 職員給与 178,495,859 〈中学校費〉 職員給与 97,412,975 の一部	一人一人の実態に応じたきめ細かな指導を行うための、児童生徒の障害の種別に応じた特別支援学級の設置	〈設置学級数〉 総数:小1,953学級(1,778学級) 中802学級(782学級)

施策の展開	当初予算額 (千円)	主 な 内 容	主 な 実 績
特別支援教育 指導員の配置	11,328	市町村への指導助言や小・中学校等への支援を行う特別支援教育相談員の教育事務所への配置	配置人数:5人(5人) 相談件数:1,118件(982件) 小・中学校等への指導助言: 476件(303件)
特別支援教育 コーディネーターの配置	(特別支援学校費) 職員給与 28,346,443 の一部	地域における特別支援教育を推進する体制を整備する上で、中核的な役割を担うコーディネーターの特別支援学校への配置	配置校数:33校(32校) ※特別支援学校に配置 巡回相談実施回数: 延387回(389回) 巡回相談児童生徒数: 小613人(580人) 中194人(233人)
特別支援教育 体制推進事業	11,428	発達障害を含む障害のある幼児・児童・生徒に対する教育的支援を行うための各種研修や研究委嘱、早期教育相談の実施等の体制整備	〈各種研修〉 研修件数:8件(8件) 〈研究委嘱〉 委嘱先:3市(2市) 〈早期教育相談〉 件数:289件(292件)
県立特別支援 学校への看護 師の配置	(特別支援学校費) 職員給与 28,346,443 報酬783,171 の一部	児童生徒に対する医療的ケアの実施や健康面・衛生面等の指導の補助等を行うための看護師の配置	看護師配置実績: 11校、33人(非常勤) 7校、7人(常勤)
特別支援学校 における就労 支援の充実	14,508	就労支援を専任で担当する「就労アドバイザー」を拠点となる高等特別支援学校2校に1名ずつ配置し、関係機関との連携強化や就職先・実習先の開拓などを行う。また、地域の企業などと連携して作業学習の内容を検討し、必要な備品を整備するなど、職業教育の充実を図る。	就労アドバイザーの訪問企業数:297社 職業教育の充実に向けた検討及び備品の整備:16校

施策の展開	当初予算額 (千円)	主 な 内 容	主 な 実 績
■ 知的障害特別支援学校の過大化の解消と整備構想等の検討			
知的障害特別支援学校の過大化の解消と整備構想の検討	157,578	県立知的障害特別支援学校の過大化に伴う問題の整理、今後の方向性の検討	知多地区の新設特別支援学校実施設計等 尾張北東地区の新設特別支援学校基本設計等 教室環境緊急整備 5 校
■ 地域での自立に向けた支援			
肢体不自由児スクールクラスターモデル事業（再掲）	1,775	地域の教育資源を効果的に組み合わせることにより、障害のある児童生徒一人一人のニーズに適切に対応した教育を実施するための研究の実施	指定学校:特 2 校(3 校) 小 2 校、中 1 校(小 4 校) ※特別支援学校は肢体不自由特別支援学校を指定
特別支援学級における地域との連携した取組	—	特別支援学級に在籍する児童生徒の校外学習や職場体験学習に地域住民の参加を促すなど、地域との結びつきを深める取組の推進	—
特別支援学校におけるキャリア教育の推進（再掲）	775	小学部での学校近隣の商店や工場で働く人を見学する「ふれあい発見推進事業」及び中学部での地域の職場の見学や簡単な作業などを体験する「チャレンジ体験推進事業」、高等部において県立学校での就業体験を行う「県立学校職場実習」の実施	〈ふれあい発見推進事業〉 実施校数:23 校(23 校) 実施人数:216 人(263 人) 〈チャレンジ体験推進事業〉 実施校数:23 校(23 校) 実施人数 322 人(245 人) 〈就労支援推進事業 [県立学校職場実習]〉 実施校数:18 校(18 校) 実施人数 233 人(227 人)
障害者の雇用促進	309,772	経済団体や法定雇用率未達成の企業への雇用の働きかけ及び障害者の職業訓練の実施	職業訓練受講者:534 人(472 人)

施策の展開	当初予算額 (千円)	主 な 内 容	主 な 実 績
■ 早期からの特別支援教育の充実			
先天性代謝異常等の検査の実施	117,995	異常の早期発見・早期治療のための新生児へのスクリーニング検査の実施	初回検査実人員： 43,496人（43,522人）
あいち発達障害者支援センター事業	4,372	臨床心理士や保健師等による発達障害のある人及びその家族からの相談への対応や情報提供、関係機関の職員研修等	相談件数：1,349件（1,078件）
特別支援教育体制推進事業（再掲）	11,428	発達障害を含む障害のある幼児・児童・生徒に対する教育的支援を行うための各種研修や研究委嘱、早期教育相談の実施等の体制整備	〈各種研修〉 研修件数：8件（8件） 〈研究委嘱〉 委嘱先：3市（2市） 〈早期教育相談〉 件数：289件（292件）

重点目標 4 豊かな人生を送るための生涯学習を充実します。

(1) 生涯学習の振興

■ 生涯学習推進計画の策定

施策の展開	当初予算額 (千円)	主 な 内 容	主 な 実 績
生涯学習推進 計画の推進	175	平成24年度に策定した生涯学習 推進計画の着実な推進	大学と連携した社会教育担当者 研修会の実施 ・ 基礎的研修：4回（5回） 参加者：延 152人（延 106人） ・ 専門的研修 5日間＋1泊2日 参加者：7人
■ 生涯にわたり学ぶ機会の充実			
「学びネット あいち」学習 コンテンツの 充実	5,991	県、市町村、大学等の生涯学習 関係機関が保有している学習案 内情報や学習教材を提供する Webサイトの充実、及びシステム 改修による利便性の向上	アクセス件数：[年間] トップページ約189万件（約187万件） システム全体約199万件（約453万件） 情報提供機関：1,717機関 (1,719機関)
リカレント教 育推進会議の 開催	61	社会人のより高度化・専門化す る学習ニーズに対応するための 環境づくりに向けた関係者によ る推進会議の開催	〈講演会〉 開催日：平成27年10月13日（水） 参加者数：22人（41人）
生涯学習推進 センター、社 会教育施設の 運営	205,194	生涯学習推進の中核的施設とし て学習情報や学習機会の提供、 研修、交流などを実施する生涯 学習推進センターの運営及び青 少年を始めとする県民の宿泊研 修や野外活動の利用に供するた めの青年の家、美浜少年自然の 家、旭高原少年自然の家の管理 運営委託	〈青年の家〉 A：23,229人（24,104人） B：3,242件（2,987件） 〈美浜少年自然の家〉 A：49,011人（48,868人） B：3,004件（2,907件） 〈旭高原少年自然の家〉 A：49,917人（52,437人） B：1,937件（2,073件）
<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>[主な実績欄の凡例]</p> <p>A: 宿泊利用者数</p> <p>B: 研修室等利用件数</p> </div>			
県図書館のセ ンター館とし ての活動 (再掲)	3,417	県内の図書館への資料の貸し出 しや、県内の図書館や学校への 研修や相談による支援	市町村図書館等への資料貸出： 20,282冊・点（18,313冊・点）

■ 学んだ成果を生かす機会の充実			
施策の展開	当初予算額 (千円)	主 な 内 容	主 な 実 績
あいちシルバーカレッジの開講	3,131	高齢者に学習の場を提供し、高齢者の生きがいづくりを促進するための「あいちシルバーカレッジ」を委託して実施	対象:愛知県内在住の高齢者 会場:県内5か所(5か所) 定員:600人(600人) 応募数:1,559人(1,784人) 委託先:社会福祉協議会
子育てネットワークワーカースの養成・活用	662	地域で家庭教育や子育てを支援する子育てネットワークワーカースを養成するための講座の開催・家庭教育研修会への派遣	会場:県内2か所(2か所) スキルアップ講座修了者:46人 ※家庭教育研修会講師登録者 総数:49人 家庭教育研修会:50回
総合型地域スポーツクラブの育成支援	1,653	誰もが、いつでも、どこでも、スポーツに取り組むことができる環境を整えるために、地域住民が主体的に運営する「総合型地域スポーツクラブ」の創設と発展を支援	〈総合型地域スポーツクラブ育成状況〉 クラブ数:130(131) 育成している市町村数:51(52) 〔創設済:50(50) 創設準備段階:1(2)〕 未育成:3(2)
高校生防災リーダーの育成(再掲)	79	防災に関する幅広い知識を持った人材や地域防災を主体的に進めることのできる人材を育成するための大学と連携したセミナーの実施	連携大学:名古屋大学 セミナー回数:5回(5回) 参加校数:30校(30校) 参加生徒数:119人(120人)
防災キャンプの実施(再掲)	1,000	青少年の防災教育及び地域のきずなづくり等を推進するために、体験型の防災プログラムを実践する防災キャンプの実施	実施市町村:2市[豊田市、豊川市](3市町) 参加者数:1,096人[2市合計] (747人[3市町合計]) 内容:学校や社会教育施設等を避難所とした生活体験等 事例発表会参加者数:75人(75人)
学校支援地域本部事業	2,100	住民等が学習成果を生かしながら学校を支援する活動を通じて、学校、家庭、地域が一体となって子育てを行う体制づくりを行う市町村を支援	実施市町村:5市町(4市町) [北名古屋市、津島市、大治町、刈谷市、田原市]

施策の展開	当初予算額 (千円)	主 な 内 容	主 な 実 績
シニア地域デビュー支援事業（新規）	5,788	シニア層が地域社会参加の始めの一步を踏み出すためのきっかけづくりを設定し、社会参加活動への意欲を増進させ、継続的に社会参加するとともに、シニア世代の学びの循環をつくりだす	(1)シニア地域デビューモデル事業 4市町で実施 (2)シニア地域デビューフォーラムの開催 参加者800名 (3)事業報告書の作成・配布 1,800部
■ 時代のニーズに対応した学習機会の充実			
消費者教育の推進	3,830	効果的で実践的な消費者教育の導入に関する研究の実施、消費生活相談員による消費生活講座の開催、消費者教育の指導者育成のための専門家の講師派遣	消費者教育研究校:3校(3校) 消費生活相談員による消費生活講座:18回(26回) 消費者教育推進支援事業:講師派遣34回(14回)
ユネスコスクールの継続的支援(再掲)	5,755	ESDの推進拠点であるユネスコスクールの在り方やネットワーク化等を助言・指導するためのユネスコスクール支援会議を設置するとともに、ユネスコスクールの活動を支援するために関係機関との連携推進及びユネスコスクールのネットワークを構築するための交流会を実施	講師派遣:15校 交流会の開催:参加者300名 活動事例集の作成・配付: 1800部 〈ユネスコスクール加盟状況〉 加盟校:160校(155校)[累計] 加盟申請校:3校(1校) [平成28年3月末現在]

施策の展開	当初予算額 (千円)	主 な 内 容	主 な 実 績
知的財産教育 の推進	449	知的財産について県民に普及するためのセミナー・講演会の開催	〈知財ビジネスセミナー～海外展開におけるリスク対策と戦略的活用～〉 開催日：平成27年7月27日、9月1日
		〈「愛知の発明の日」記念講演会〉 開催日：平成27年7月31日 会場：名古屋市[名古屋市中小企業振興会館] 参加者数：114名 〈休日パテントセミナー〉 開催日：平成27年8月29日、9月12日、9月26日 会場：岡崎市[岡崎商工会議所] 参加者数：70人 〈中小企業のための海外ビジネス展開セミナー〉 開催日：平成27年5月20日 会場：名古屋市[ナカトウ丸の内ビル名古屋会議室] 参加者数：33名	会場：名古屋市[愛知県産業労働センター] 参加者数：128名 〈中小企業の知財・ノウハウを活用した海外事業進出のためのパートナー戦略〉 開催日：平成27年11月24日 会場：名古屋市[愛知県産業労働センター] 参加者数：31名 〈地域ブランド化推進セミナー2015〉 開催日：平成27年12月14日 会場：名古屋市[愛知県産業労働センター] 参加者数：88名

(2) 文化芸術の振興・伝統文化の保存・活用			
■ 芸術に触れ親しむ機会の充実			
施策の展開	当初予算額 (千円)	主な内容	主な実績
愛知芸術文化センターの運営	2,090,837	本県の芸術文化の振興及び普及を図る拠点となる愛知芸術文化センターの管理運営	〈愛知県美術館〉 入館者数:787,894人(762,648人) 展示室利用件数:184件(155件) 〈愛知県芸術劇場〉 利用者数:611,247人(605,176人) 利用件数:1,355件(1,285件) 〈愛知県文化情報センター〉 入館者数:447,719人(451,846人) 館外貸出冊数:19,888冊(20,910冊) ビデオ利用点数:4,304点(4,686点) 〈愛知県図書館〉 入館者数:602,615人(607,148人) 館外貸出冊数:532,814冊(520,611冊)
愛知県陶磁美術館の運営	274,689	陶芸文化の振興及び普及を図るための陶磁美術館の管理運営	入館者数:92,045人(112,381人)
県立2大学における地域連携の強化	—	教育研究の成果を地域に還元するための講演会等の開催	各種展覧会・演奏会、芸術講座の開催
アートマネジメント人材の育成	500	芸術文化の「創り手」と「受け手」をつなぐ専門的な人材(アートマネージャー)の育成講座の開催	学生インターンシップ受講者:19人(20人) アートマネジメント実践実習(一般対象)受講者:9人(10人)
アートラボあいちの運営(新規)	—	「アートラボあいち大津橋」・「アートラボあいち長者町」にて、県内の芸術大学(愛知県立芸術大学・名古屋芸術大学・名古屋造形大学)との連携による展覧会を継続して開催。また、あいちトリエンナーレを始めとする現代アートに関する情報を幅広く発信し、大学や地域の皆様を始めとする多くの県民の方々の交流の場としていく。	[アートラボあいち大津橋]来場者数:3,444名 [アートラボあいち長者町]来場者数:1,699名 ※平成27年8月7日オープン

■ 学校における芸術教育の充実			
施策の展開	当初予算額 (千円)	主 な 内 容	主 な 実 績
児童生徒ふれあい文化活動育成事業	2,792	高校生の文化・芸術活動の総合的な発表会である「アートフェスター愛知県高等学校総合文化祭」を開催	参加校数:延 164 校(143 校) 出演者数:965 人(1,003 人) 入場者数:延 6,341 人(6,800 人)
県立高等学校への部活動(文化)専門指導員の配置	20,966	部活動(文化)の活性化を図るための外部指導者による部活動専門指導員の配置	配置数:74 校 83 部(69 校 76 部) 1 部活動当たりの月平均配置時間数:10.7 時間(11.4 時間)
教職経験者や社会経験の豊かな者等に対する特別選考	—	教員採用選考試験において、音楽や美術の分野に秀でた技能や実績を有する者に対する特別選考の実施	合格者数:9 人(8 人)
あいち「授業づくり人材バンク」の運用による外部人材の活用(再掲)	—	小・中学校の授業づくりに優れた外部人材を登録し、市町村での児童生徒の学習意欲の向上や教師の授業力の向上に関する取組に活用してもらうための人材バンクの運用	あいち「授業づくり人材バンク」運用開始:平成 23 年 5 月 登録数: 「授業名人」34 人(45 人) 「達人」19 人(29 人) 企業 14 社(13 社) NPO 法人 9 法人(9 法人)
■ 伝統文化を尊重する心の育成			
ふるさと遺産サポート事業(再掲)	605	住民や子どもたちが郷土の自然や文化財を未来に守り伝える環境を整えるための、保存団体による伝統文化出張講座の開催や天然記念物である「木曽川堤(サクラ)」の観察講座の実施	伝統文化出張講座 講座数:小 3 校(3 校) [実施校]- [実施団体] ・春日井市立大手小学校-伊多波刀神社奉納流鏝馬保存会 ・常滑市立三和小学校-矢田萬歳保存会 ・半田市立成岩小学校-半田市成岩第四区獅子保存会 「木曽川堤(サクラ)」の観察講座 ・愛知教育大学渡邊幹男教授による講義及び木曽川堤での観察講座

施策の展開	当初予算額 (千円)	主 な 内 容	主 な 実 績
あいち山車まつり活性化事業（新規）	14,698	<p>あいちの文化の特色の一つである山車文化について、県内に所在する全ての山車まつりの保存団体及び山車まつりが所在する市町、県の相互交流・連携を通じて、</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 山車まつりの魅力を県内外へ広く発信するとともに、山車文化の気運の高揚を図る ○ 山車まつりの保存・継承及び振興を図る ○ 地域全体の活性化や観光振興にも寄与する 	<p>山車及び山車まつりの現状確認調査</p> <p>「あいち山車まつり日本一協議会」の設立(平成27年12月13日)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「山車日本一あいち」決起イベントの開催(同日) ・広報資料作成 <ul style="list-style-type: none"> ポスター 2,500部 山車図鑑 5,000部 カレンダー 10,000部
清洲貝殻山貝塚資料館整備事業（新規）	8,036	<p>新資料館の拡充整備に向け、史跡の保存管理計画及び資料館の拡充整備基本構想を策定</p>	<p><史跡貝殻山貝塚保存管理計画></p> <p>有識者、地元自治体代表者、県関係者による検討会議を4回開催(平成27年5・7・10・12月)。平成28年3月に保存管理計画を策定。</p> <p><愛知県清洲貝殻山貝塚資料館拡充整備基本構想></p> <p>有識者、地元自治体代表者、教育関係代表者、県関係者による検討会議を4回開催(平成27年5・7・10・12月)。平成28年3月に拡充整備基本構想を策定</p>

施策の展開	当初予算額 (千円)	主 な 内 容	主 な 実 績
朝日遺跡魅力 発信事業 (新規)	7,522	朝日遺跡の学術的価値、文化遺産としての魅力を県内外に広く発信し、遺跡の保護を図るとともに、地域振興に資する事業の開催	<p><にぎわい創出推進会議> 貝殻山貝塚資料館のにぎわいを創出するための検討会議を3回開催(平成27年7月・8月・平成28年2月)</p> <p><朝日遺跡ガイドブック> A5版16頁、10,000部</p> <p><出土品展の開催> テーマ:朝日遺跡と木の道具 期間:平成27年10月17日(土)~11月23日(月) 入場者数:1,548人</p> <p><弥生生活体験講座> DOKI ドキ弥生体験! 日程:平成27年10月25日 参加者:体験講座約1,500人</p> <p><保存修理> 斧柄・鋤、容器類、竪櫛、織機楯等木製品8点の保存修理及び保存箱の作製</p>

(3) スポーツの振興			
■ 学校体育の充実			
施策の展開	当初予算額 (千円)	主 な 内 容	主 な 実 績
学校体育実技 指導	12,553	体育担当教員及び運動部活動指導者の指導力向上のための研修会の実施や地域のスポーツ指導者の学校への配置	<p>研修会等:6件(6件) (指導者派遣) 武道等指導推進事業: 13人(18人) 運動部活動指導の工夫・改善支援事業:81部(87部)</p>
県立高等学校 への部活動 (運動) 専門 指導員の配置	38,938	部活動(運動)の活性化を図るための外部指導者による部活動専門指導員の配置	<p>配置数:107校151部 (103校145部) 1部活動当たりの月平均配置時間数:10.3時間(11.1時間)</p>

■ スポーツに親しむことができる環境づくり			
施策の展開	当初予算額 (千円)	主 な 内 容	主 な 実 績
愛知県版子どもの体力向上運動プログラムの普及	765	小学校高学年における体づくり運動の効果的な指導方法の確立	協力校：4校 指導者講習会の実施：1回 参加者数117名(160名) 小学校高学年向け運動プログラムの改訂、親子による実践
総合型地域スポーツクラブの育成支援 (再掲)	1,653	誰もが、いつでも、どこでも、スポーツに取り組むことができる環境を整えるために、地域住民が主体的に運営する「総合型地域スポーツクラブ」の創設と発展を支援	〈総合型地域スポーツクラブ育成状況〉 クラブ数:130(131) 育成している市町村数:51(52) 〔創設済:50(50) 創設準備段階:1(2)〕 未育成:3(2)
体育・野外活動施設の管理運営	602,711	県民のスポーツ活動等の利用に供するための体育・野外活動施設の管理運営委託	愛知県体育館の利用件数: 172,473件(182,963件) その他の施設:スポーツ会館、武道館、野外教育センター、岡崎総合運動場、一宮総合運動場、口論義運動公園、総合射撃場
県立学校スポーツ開放運営事業	5,354	公共スポーツ施設が不足している中、学校教育活動に支障のない範囲で、県立学校体育施設を開放し、地域住民の要望に答えることで生涯スポーツの推進に寄与	〈開放実績〉 県立学校177校中80校44.7% (177校中79校44.6%)
競技力向上対策事業	32,200	国体選手強化のための事業及びジュニア層の育成、強化、競技普及事業等に対する補助	補助先:公益財団法人愛知県体育協会
子どもスポーツふれあい事業の実施 (新規)	7,520	子どものスポーツや運動に対する興味関心を高め、体力向上を図るため、オリンピック選手などのトップアスリートを招へいし、親子で運動に親しむ講習会を実施	県内4会場 小学生414名、保護者340名

施策の展開	当初予算額 (千円)	主 な 内 容	主 な 実 績
2020年東京オリンピックあいち選手強化事業の実施（新規）	70,679	2020年の東京オリンピックに本県ゆかりの選手を多く輩出し、県民の一体感や気運の醸成、本県のスポーツ推進を支える好循環を創出するため、強化指定選手を対象に競技力強化事業及び次世代につながるスポーツ人材育成事業を実施	強化指定選手 204 名を認定 〈内訳〉 トップ（大学生・社会人）82 名 ジュニア（小・中・高校生）122 名 強化指定選手の国内外への遠征や合宿、競技用具購入等に対し助成 ジュニア強化指定選手育成事業：3 回実施、延べ 190 名が参加 次世代につながるスポーツ人材育成事業 ・「体育・スポーツ振興に関する協定」締結の 4 大学との連携事業：各大学と 1 回ずつ実施、延べ 200 名が参加 ・競技団体との連携事業：3 競技団体と 5 回実施、延べ 492 名が参加
■ 国際的・全国的なスポーツ大会の開催			
国民体育大会への県選手団の派遣	58,440	第 70 回国民体育大会、第 71 回国民体育大会冬季大会への県選手団の派遣	〈第 71 回国民体育大会冬季大会〉 派遣人数：108 人（112 人） 開催地：岩手県 開催期間： [スケート・アイスホッケー競技]58 名 平成 28 年 1 月 27 日（水）～ 平成 28 年 1 月 31 日（日） [スキー競技]50 名 平成 28 年 2 月 20 日（土）～ 平成 28 年 2 月 23 日（火） 成績： 男女総合成績 14 位 女子総合成績 7 位
		〈第 70 回国民体育大会〉 派遣人数：676 人（684 人） 開催地：和歌山県 開催期間： 平成 27 年 9 月 26 日（土）～ 平成 27 年 10 月 6 日（火） 成績： 男女総合成績 3 位 女子総合成績 4 位	

施策の展開	当初予算額 (千円)	主 な 内 容	主 な 実 績
マラソンフェスティバル ナゴヤ・愛知 の開催・支援	55,000	マラソンフェスティバル ナゴヤ・愛知実行委員会への参画・支援	参加者数：36,941人(34,422人) 開催期間： 平成28年3月11日(金)～ 平成28年3月13日(日) 内容：名古屋ウィメンズマラソン、名古屋ウィメンズホイールチェアマラソン、名古屋シティマラソン、他に関連イベントとしてマラソン EXPO（来場者125,381人）を開催
		名古屋ウィメンズマラソンの参加者は昨年度を上回り、ギネス記録を更新	

(4) 健康教育の充実

■ 心身の健康づくり

施策の展開	当初予算額 (千円)	主 な 内 容	主 な 実 績
養護教諭を中核とした保健指導の充実	102	<p>養護教諭の資質向上のための研修等の実施</p> <p>〈養護教諭スキルアップ研修会〉 対象：採用3年目の養護教諭 受講者：小中45人(34人) 県立 8人(3人)</p> <p>〈期限付任用等養護教諭研修会〉 対象：期限付・臨時的任用の新規採用養護教諭及び2・3年目の養護教諭の希望者 受講者：小中55人(42人) 県立25人(38人)</p>	<p>〈養護教諭研究協議会〉 開催回数：小中4回(4回) 県立1回(1回)</p> <p>受講者：小中1,052人(1,055人) 県立 245人(248人)</p> <p>〈養護教諭実践力向上研修会〉 対象：採用2年目の養護教諭 受講者：小中42人(47人) 県立10人(9人)</p>

施策の展開	当初予算額 (千円)	主 な 内 容	主 な 実 績
フッ化物洗口の推進	1,527	永久歯のむし歯予防として有効なフッ化物洗口が幼稚園、保育所、小学校等で実施されるよう支援	実施施設数： 1,098施設(1,048施設) 〈永久歯う蝕対策支援研修会〉 対象：養護教諭等 受講者：430人(405人) 〈リーフレット作成配布〉 フッ化物利用啓発リーフレット： 43,000部(45,000部) 6歳臼歯保護育成リーフレット： 51,000部(54,000部)
生活習慣病対策の推進	5,651	生活習慣病対策として、健康を増進し、発病を予防する一次予防対策を推進	圏域健康づくり推進特別事業： 10保健所(10保健所) 生活習慣病対策機能連携推進事業： 歯周病と糖尿病との医科歯科連携講演会 受講者181名(135名)
特定感染症対策事業	9,993	エイズ、性感染症等の特定感染症に関する知識の普及及び相談体制の充実	〈エイズ予防強化週間ポスター募集〉 対象：県内の中・高校生 応募数：646件(514件) 〈感染症予防指導者の育成〉 参加者：361人(447人) 〈エイズ相談事業〉 愛知県エイズ情報センター及び相談窓口の設置
薬物乱用防止対策事業	5,302	麻薬や覚醒剤、危険ドラッグなどの薬物の乱用防止に関する知識の普及及び相談体制の充実	〈ダメ。ゼッタイ。普及運動〉 期間：平成27年6月20日(土)～平成27年7月19日(日) 〈麻薬・覚醒剤乱用防止運動〉 期間：平成27年10月1日(木)～平成27年11月30日(月)

施策の展開	当初予算額 (千円)	主 な 内 容	主 な 実 績
学校保健講座	142	児童生徒の心身の健康問題に対応するための教員を対象とした講座の開催	〈保健管理講座〉 開催日:平成27年7月27日(月) 参加者数:83人 〈メンタルヘルス講座〉 開催日:平成27年7月24日(金) 参加者数:91人 〈健康教育講座〉 開催日:平成27年8月3日(月) 参加者数:79人
子どもたちへの手洗いの習慣付け	—	幼稚園児及び保育園児を対象とした食事前の手洗いの励行と正しい方法の習得の普及啓発	「あわあわゴッシーの歌」のホームページやリーフレットでの普及啓発
あいち健康の森健康科学総合センターの運営	912,859	県民の健康の増進を図るための健康科学総合センターの管理運営	利用者:465,286人(467,394人) 健康づくりリーダーバンク登録研修:1回[8日間40単位]

(5) 食育の推進

■ 食に関する指導の充実

施策の展開	当初予算額 (千円)	主 な 内 容	主 な 実 績
栄養教諭の配置拡大	〈小学校費〉 職員給与 178,495,859 〈中学校費〉 職員給与 97,412,975 〈特別支援学校費〉 職員給与 28,346,443 の一部	食に関する指導を充実し、児童生徒に望ましい食習慣を身に付けさせるための栄養教諭の配置拡大	栄養教諭の配置: 小 186人(139人) 中 51人(48人) 特 20人(13人)

施策の展開	当初予算額 (千円)	主 な 内 容	主 な 実 績
学校における組織的・体系的な食育の推進	10,000	関係機関・団体との連携における食育のモデル実践プログラムを構築	スーパー食育スクール指定校において、食育の多角的効果を科学的データに基づいて検証 食に関する指導の全体計画を作成した小・中学校：98.0% (96.6%)
学校食育推進のための研修事業	183	学校食育を推進する指導者の資質向上を図るための研修の実施	〈参加者数〉 学校食育推進者養成講座： 473人(425人)
体験活動による食育	—	地域の生産者や食育推進ボランティア等と連携した体験活動の実施	活動例：農作業体験、餅つき体験、和菓子作り体験、稚魚の放流体験 等
小学生の農林漁業体験学習の推進	3,774	農林漁業者等による体験活動実施等への助成	助成団体：2団体4市町
愛知を食べる学校給食の日	—	小・中学校、特別支援学校、定時制高校の学校給食に地元の産物や県内の産物を活用する「愛知を食べる学校給食の日」の実施	実施回数：年3回(年3回) 学校給食での地場産物の活用率：40.5%(40.7%) 残食率：小5.1%(5.5%) 中3.4%(4.2%)
■ 規則正しい食生活の啓発			
規則正しい食生活や生活リズムの重要性の啓発	148	食育劇を上演する学校へのシナリオの提供や道具の貸与、食育の推進活動を自主的に行うボランティアの登録・支援	食育劇：食まるファイブメタボ軍をやっつけろー 上演校数：小30校(18校) 特2校(3校) 保0園(1園) 愛知県食育推進ボランティア登録者数：1,050人(1,041人)
親子で考える朝ごはんキャンペーンの実施	—	子どもたちが朝ごはんの大切さを考えたり、実際に調理する機会としてのコンテストの開催及び入賞献立や名古屋グランパスの選手の朝ごはんを紹介するリーフレットの作成	コンテスト：あいちの味覚たっぷり！我が家の愛であ朝ごはんコンテスト 応募数：8,721点(9,543点) 応募校数：304校(263校) 朝食に野菜を食べる割合： 小学校5年生64.1%(64.0%) 中学校2年生51.7%(53.6%)

施策の展開	当初予算額 (千円)	主 な 内 容	主 な 実 績
「早寝・早起き・朝ごはん」の啓発	—	新たに小学校に入学する児童の保護者への「早寝・早起き・朝ごはん」のリーフレット配布及び栄養教諭等による説明の実施	リーフレットのWeb配信

(6) 家庭教育の充実と子育て支援

■ 家庭教育や子育てについて学ぶ機会の充実

施策の展開	当初予算額 (千円)	主 な 内 容	主 な 実 績
家庭教育企画委員会の開催	153	家庭教育事業全体の総合的な推進を図るための関係者による情報交換や意見交換の実施	〈家庭教育企画委員会〉 委員数:10人(10人) 開催回数:年3回(3回)
子育てネットワークの養成(再掲)	662	地域で家庭教育や子育てを支援する子育てネットワークを養成するための講座の開催・家庭教育研修会への派遣	会場:県内2か所(2か所) 養成講座修了者:46人 ※家庭教育研修会講師登録者 総数:49人 家庭教育研修会:50回
職場内家庭教育講座の開設	113	職場において家庭教育講座などを開設する企業の支援	講師派遣:8回(8回) 参加者数:476人(406人) PR用パンフレット:2,500部(2,500部)
子育て支援ポータルサイトによる子育て支援情報の発信	12	子育て支援ポータルサイト「あいち はぐみんネット」での子育て支援情報の提供	子育て支援情報の例:県が実施する子育て支援の取組に関する情報、県内のNPO・子育てサークル・ボランティア等が実施する取組に関する情報 等
父親育児参加の推進	—	妊娠・出産・育児において父親に望まれるサポートについての知識などを県内の新生児の父親に周知するためのスマートフォン用アプリの無料配信等	スマートフォンアプリ「子育てハンドブック～お父さんダイスキ～」の配信
あいちっこイキイキ子育て支援地域交流会の開催(再掲)	1,112	家庭や地域の教育力の向上を図るための子育て支援を考える地域交流会の開催	開催地:6地区(6地区) [東郷町、蟹江町、常滑市、西尾市、豊川市、東栄町] 参加者数:2,090人(2,329人)

施策の展開	当初予算額 (千円)	主な内容	主な実績
スクールカウンセラー設置事業（再掲）	662,487	問題行動の解決及び未然防止を図るためのスクールカウンセラーの学校への配置及び緊急事案への対応や経験の浅いスクールカウンセラーへの指導助言を行うためのスーパーバイザーの配置	〈スクールカウンセラー配置数〉 小:拠点校 196 校(189 校) 中:306 校(307 校)[全校配置] 高:拠点校 53 校(30 校) 〈スーパーバイザー〉 小・中担当:3 名(3 名) 高担当:2 名(2 名)
■ 子育て支援の促進			
子育て応援の日（はぐみんデー）普及啓発事業	938	社会全体で子育てを応援する機運の醸成を図るための「子育て応援の日（はぐみんデー）」の県民への周知	子育て応援の日（はぐみんデー）:毎月 19 日 〈「子育て応援の日（はぐみんデー）」普及推進強化月間啓発イベント〉 開催日:平成 27 年 11 月 1 日(日) 開催場所:金山総合駅連絡橋イベント広場 参加者数:200 人(80 人) 〈育 19 キャンペーンの実施〉 開催日:平成 27 年 11 月 19 日(木) 〈はぐみんキャラバン隊の派遣〉 派遣回数:297 回(356 回)
教育・保育の量の拡充のための支援（新規）	11,446,385	市町村が実施する施設型教育・保育給付及び地域型保育事業（家庭的保育事業、小規模保育事業、事業所内保育事業及び居宅訪問型保育事業）を行った場合に要する経費の一部を負担または補助	施設型教育・保育給付費:47 市町村 1 号認定子ども:44,490 人 2、3 号認定子ども:776,200 人 地域型保育給付費負担金: 30 市町 16,647 人
多様な保育ニーズに対応した保育サービスの充実（新規）	697,023	働き方に応じた保育ニーズに対応するため市町村が実施する延長保育や病児保育等の充実のための取組などを支援	延長保育事業費:34 市町 標準時間:192 施設、短時間:427 施設(30 市町 133 施設) 病児保育事業費:29 市町 55 施設(22 市町 28 施設) 低年齢児途中入所円滑化事業費: 16 市町 55 施設(16 市町 52 施設) 1 歳児保育実施費:43 市町 4,512 人(43 市町 5,374 人)

施策の展開	当初予算額 (千円)	主 な 内 容	主 な 実 績
愛知県ファミリー・フレンドリー企業の普及	1,447	仕事と生活の調和の取れた働き方ができる職場環境づくりに積極的に取り組んでいる企業の普及拡大	愛知県ファミリー・フレンドリー企業登録数：56社増加（58社増加） ワーク・ライフ・バランス普及コンサルタント派遣：17回
放課後子ども教室推進事業（再掲）	268,957	放課後や週末等に余裕教室等を活用して子どもの安全・安心な活動場所を確保し、地域の様々な方の参画を得て、学習や多様な体験・交流活動の機会を提供する市町村の活動への支援	放課後子ども教室等設置数： 放課後子ども教室 30市町 251教室 (30市町 238教室) 土曜日等の教育支援 7市 74講座
■ 児童虐待の防止			
児童虐待対策事業	29,660	児童虐待に対応するための児童（・障害者）相談センターを中心とした体制整備及び地域におけるネットワークの構築、啓発事業及び里親支援事業の実施	要保護児童対策協議会：1回（1回） 関係機関連絡調整会議： 10児相で開催 専門家の配置：児童虐待対応弁護士、被虐待児家庭復帰支援員、児童虐待対応法医学専門医師、児童虐待対応精神科医師、一時保護所心理職員
児童相談センター職員の派遣、研修会等の実施による児童虐待予防（新規）	10,063	市町村要保護児童対策地域協議会の体制強化のため児童相談センターが選定した市町村へ職員を派遣及び実践報告書を作成、市町村養育支援訪問事業の強化のための研修会を実施、中学生向けの虐待予防教育プログラムを作成	市町村要保護児童対策地域協議会強化事業：職員派遣 5市、実践報告書作成 250部 市町村養育支援訪問強化事業：12保健所 中学生向け虐待予防プログラム作成：生徒用教材 60,000部、指導用手引書 3,000部

(7) 環境教育・環境学習の推進

■ 学校での環境教育の充実

施策の展開	当初予算額 (千円)	主 な 内 容	主 な 実 績
環境学習副読本の活用	4,563	小学校高学年を対象とした環境学習副読本「わたしたちと環境」の作成・配付及び環境学習副読本の内容の見直し	作成部数：3月配付 56,000部、 (5月配付 56,000部 3月配付 54,000部) 配付対象：小学校4年生

施策の展開	当初予算額 (千円)	主 な 内 容	主 な 実 績
ストップ温暖化教室	846	地球温暖化防止の大切さを学ばせ、エコライフを实践できる子どもの育成を目的とした「ストップ温暖化教室」の開催	〈小学校高学年向け教室〉 参加者:38校 2,113人 (38校 2,403人) 〈小学校中学年向け教室〉 参加者:44校 2,918人 (53校 3,487人)
総合学科、普通科コース制の設置等 (再掲)	—	生徒のさまざまな興味・関心に 応じた多様な学科、コース等を 県立学校に設置	総合学科:9校(9校) 普通科コース制:23校 25コース (23校 25コース) 平成27年度から海翔高校環境 コースを環境防災コースへ改編
緑のカーテンの普及	4,337	「あいち緑のカーテンコンテスト」の実施による緑のカーテンの普及	〈応募件数〉 住宅部門:36件(19件) 幼稚園・保育園部門:12件(10件) 学校部門:50件(53件) 事業所部門:41件(34件)
野生生物保護実績発表大会	177	野生生物保護活動の促進と保護思想の普及啓発のため、野生生物保護活動実践校等による野生生物保護発表大会の開催	開催日:平成27年8月6日(木) 参加数:7校 106人(9校 130人)
エネルギー教育推進事業費	3,192	エネルギーについての理解を深め、自ら考え、判断する力を身に付けるための実践研究	推進地区: 幸田町[小6校、中3校] 実践校:高等学校6校
■ 地域における環境学習の推進			
体験型環境学習講座の実施・あいち環境学習プラザの活用	13,967	体験型学習施設である「あいち環境学習プラザ」や「もりの学舎(まなびや)」での環境学習講座の実施	体験型環境学習講座実施回数: 40回(35回) もりの学舎来館者数: [年間]54,655人(48,765人) [累計]440,536人(385,881人) インタープリターと歩くもりのツアー参加者:5,127人(5,276人) あそび工房参加者: 3,378人(2,476人)
あいち海上の森保全活用事業	18,283	あいち海上の森センターにおける森林や里山、自然環境等に関する体験学習や里山保全等にかかわる人材育成等の推進	各種体験学習参加者:781人(647人) あいち海上の森大学修了者:18人(22人) 人と自然の共生国際フォーラム参加者:780人(600人)

施策の展開	当初予算額 (千円)	主 な 内 容	主 な 実 績
環境学習ネットワークの構築・インターネットを利用した環境学習の機会の提供	52	県内の環境学習施設や市町村などの環境学習に携わっている団体とのネットワーク化を推進するための愛知県環境学習施設等連絡協議会の開催	開催日:平成27年6月11日(木) 出席団体:71施設 開催日:平成27年9月3日(木) 出席団体:49施設
生物多様性セミナーの開催	1,735	地域で活動するNPO等と連携した、親子で自然とふれあい、楽しみながら生物多様性の大切さなどを学ぶセミナーの開催	開催回数:4回(6回) 参加者数:延149人(235人)
環境学習コーディネーターの活用	1,029	環境学習を受けたい方と提供できる方の橋渡しをし、学習内容等を調整するコーディネーターの設置	相談業務:14件(16件) コーディネート業務:21件(21件)
学生向けの環境面における「人づくり」プログラム「かがやけ☆あいちサスティナ研究所」の推進(新規)	2,000	学生が研究員となり、パートナー企業から提示された環境課題に対して、企業の現場での調査や企業の担当者とのディスカッションを通して、解決策を提案し、成果を広くPR	参加者:県内13大学から20名の学生 パートナー企業:5社 実施時期:5月から12月まで

魅力ある教育環境づくり

(1) 幼児児童生徒の安全・安心の確保

■ 地域ぐるみによる安全・安心の確保

施策の展開	当初予算額 (千円)	主 な 内 容	主 な 実 績
学校安全緊急 情報共有化広 域ネットワー クの充実	—	行政機関や学校、地域の団体などによる学校の安全を守る緊急情報共有化のネットワークシステムの充実	ネットワーク活用訓練の実施:5月 緊急情報の件数: 998件(1,240件)
児童生徒見守 りネットワー クの運用	—	愛知県及び愛知県警察と連携し、タシ-会社やガソリンスタンド等の民間事業者とともに構築した「児童生徒見守りネットワーク」の運用	参加事業所数:18団体(18団体)
実践的安全教 育総合支援事 業(新規)	2,458	通学路の安全を確保する体制の充実、交通安全の意識や技能を高めるための教育手法の開発等	実施市町村:2市[豊橋市、常滑市]
「パトネット あいち」によ る不審者情報 の提供	—	子どもや女性に対する声かけやつきまとい事案などの不審者情報を、希望する住民の携帯電話にメールで配信する「パトネットあいち」の運用	登録者数:約101,000人(約96,000人)
学校安全ボラ ンティア(ス クールガー ド)の配置	—	各小学校で活動する学校安全ボランティア(スクールガード)の核となる「スクールガード活動推進員」の指定	スクールガード活動推進員指定 人数:938人(860人)
安全なまちづ くりの推進	71,309	住民の防犯意識の高揚と自主防犯活動の活発化を図るための、自主防犯団体設立や運営の支援等	四季の県民運動の実施、県民大会の開催 防犯ボランティア養成アカデミーの開催:参加656人(718人) 地域の特性に応じた効果的な防犯活動を企画・実践する自主防犯団体への支援:19団体(新規)

施策の展開	当初予算額 (千円)	主 な 内 容	主 な 実 績
放課後子ども 教室推進事業 (再掲)	268,957	放課後や週末等に余裕教室等を活用して子どもの安全・安心な活動場所を確保し、地域の様々な方の参画を得て、学習や多様な体験・交流活動の機会を提供する市町村の活動への支援	放課後子ども教室等設置数: 放課後子ども教室 30市町 251 教室 (30市町 238 教室) 土曜日等の教育支援 7市 74 講座
放課後児童健 全育成事業	2,261,196	保護者が就労等により昼間家庭にいない、主に小学校低学年の児童の放課後や長期休暇時の適切な遊び及び生活の場を確保するための放課後児童クラブの運営及び設置に要する経費の補助	放課後児童クラブ設置数: 54市町村 1,137 クラブ (54市町村 1,080 クラブ)
■ 学校における児童生徒の安全確保			
学校における 防災計画の再 点検等	—	実効性の高い防災教育や避難訓練の充実を図るため、各小・中・高等学校・特別支援学校へのマニュアル等の見直しの働きかけ	マニュアルの見直し実施率: 90.5%(91.8%)
県立学校施設 の整備等	9,790,905	災害時における児童生徒の安全確保を図るための県立学校建物の耐震改修工事及び体育館吊り天井の落下防止対策工事	耐震Bランク建物の耐震改修工事: 77棟(96棟) 建物の耐震化率:96.0%(91.9%) 体育館吊り天井の落下防止対策工事: 29棟(2棟) 体育館吊り天井の対策済率: 50.8%(4.8%)
小・中学校施設 の耐震化の 推進	—	小・中学校施設の耐震化が推進されるよう国や市町村に働きかけ	小・中学校の耐震化率: 99.8%(99.8%)
学校における 受動喫煙防止 対策の推進	—	健康増進法に基づく、学校敷地内を全面禁煙とするなどの受動喫煙防止対策の実施	〈敷地内全面禁煙実施率〉 県立学校:100%[H16.4~] 市町村立学校:84.8%(83.8%)

(2) 教職員の確保・適正配置と資質の向上			
■ 教職員の適正配置			
施策の展開	当初予算額 (千円)	主 な 内 容	主 な 実 績
少人数教育対応教員の配置 (再掲)	〈小学校費〉 職員給与 178,495,859 報酬 2,342,405 〈中学校費〉 職員給与 97,412,975 報酬 1,904,162 の一部	きめ細かな指導を実施するための、小学校第1学年、第2学年及び中学校第1学年での少人数学級(35人編制)の継続実施及び少人数指導教員の継続配置	少人数学級実施校: 50市町村625校702学級増 (50市町村642校731学級) 少人数指導教員配置数: 小:専任教員653人(653人) 非常勤講師193人(199人) 中:専任教員708人(707人) 非常勤講師240人(250人)
日本語教育適応学級担当教員の配置 (再掲)	〈小学校費〉 職員給与 178,495,859 〈中学校費〉 職員給与 97,412,975 の一部	日本語教育が必要な帰国・外国人児童生徒に対する教育の充実を図るための日本語教育適応学級担当教員の配置	配置数:小284人(245人) 中131人(117人) 学級数:小189学級(164学級) 中67学級(69学級)
通級指導教室担当教員の配置(再掲)	〈小学校費〉 職員給与 178,495,859 〈中学校費〉 職員給与 97,412,975 の一部	小・中学校の通常の学級に在籍する発達障害を含む障害のある児童生徒に対する指導を行うための通級指導教室担当教員の配置	配置人数:小237人(227人) 中19人(17人)
障害種別特別支援学級の設置(再掲)	〈小学校費〉 職員給与 178,495,859 〈中学校費〉 職員給与 97,412,975 の一部	一人一人の実態に応じたきめ細かな指導を行うための、児童生徒の障害の種別に応じた特別支援学級の設置	〈設置学級数〉 総数:小1,953学級(1,778学級) 中802学級(782学級)

施策の展開	当初予算額 (千円)	主 な 内 容	主 な 実 績
学校現場の負担軽減のための取組	—	教員が子どもと向き合う時間を確保するための、学校現場の負担軽減に関する働きかけ	見直し内容:会議、調査・報告、研修及び研究指定校の精選
県立学校における校務の情報化	228,840	教員用パソコンの継続配備、学校の要望を踏まえた校務支援システムの改修	教員用パソコン配備台数: 11,618台(11,523台)
■ 優れた人材の確保			
教職経験者や社会経験の豊かな者等に対する特別選考の実施	—	<p>教員としてふさわしい資質能力を備えた優れた人材を採用するための教員採用選考試験説明会の開催及び各種特別選考の実施</p> <p>(特別選考等の合格者数)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国語堪能者選考:8人(3人) ・社会人特別選考:8人(3人) ・現職教諭特別選考:60人(41人) ・元教諭・講師経験者特別選考:163人(119人) ・英語有資格者特別選考:17人(26人) ・芸術(音楽・美術)・スポーツ特別選考:9人(8人) ・大学院進学による採用辞退者に対する特別選考:14人(19人) ・昨年度の補欠者に対する特別選考:58人(51人) ・障害者大学推薦特別選考:1人(0人) ・介護理由退職者特別選考:2人(1人) ・大学推薦特別選考:20人(11人) ・教職大学院修了見込者特別選考:4人(10人) ・特別支援教育に関する特別選考:51人(56人) 	<p>教員採用選考試験説明会実施会場 県内3か所(3か所)[江南市、刈谷市、蒲郡市]</p> <p>県外5か所(5か所)[神奈川県、大阪府、静岡県、広島県、福井県]</p>
学校組織の活性化	—	学校が保護者や地域住民の信頼を得ながら自主的・自律的に教育活動が行えるよう学校の組織運営を活性化する取組を実施	<p>主幹教諭の配置: 小中学校:50人(50人)</p> <p>愛知県教育委員会教職員表彰: 104人(104人)</p>
県立学校教員人事異動公募制度	—	多様なカリキュラムに対応するための人材確保と学校の活性化を目的とした、総合学科、総合選択制及び専門学科設置校での教員公募制の実施	<p>公募実施校数:16校(12校)</p> <p>応募状況:9人8校(9人7校)</p>

施策の展開	当初予算額 (千円)	主 な 内 容	主 な 実 績
教職員のメンタルヘルス対策	1,040	教職員のメンタルヘルス確保のための事業の実施	〈ストレスマネジメント研修会〉 対象者：一般教職員 194 人 (188 人)
		〈管理職メンタルヘルス対策推進研修会〉 対象者：校長等 175 人 (173 人) 開催回数：1 回 (1 回) 〈管理職研修「メンタルヘルス基礎講座」〉 対象者：新任の教頭等 110 人 (103 人) 開催回数 2 回 (2 回)	開催回数：3 回 (3 回) 〈所属研修サポート事業〉 派遣校数：6 校 (7 校) 〈メンタルヘルス相談〉 面談相談：29 件 (17 件) 電話相談：10 件 (8 件) 〈メンタルヘルス巡回相談〉 巡回回数：32 回 (32 回)
■ 教職員研修の充実			
連携協定を締結している大学との協議会の開催	141	「愛知県総合教育センター・大学連携協議会」を設置し、相互の研究と教育の充実・発展を図るための協議を実施	回数：2 回 開催日：平成 27 年 7 月 10 日 (金) 平成 28 年 1 月 28 日 (木)
教職員研修の充実	5,290	教員の指導力向上と子どもと向き合う時間を確保するための研修事業の見直し	〈e ラーニング研修の実施〉 e ラーニング研修講座数：35 講座 受講者：4,959 人 (4,093 人)

(3) 開かれた学校づくり			
■ 地域に根ざした学校づくり			
施策の展開	当初予算額 (千円)	主 な 内 容	主 な 実 績
道徳教育推進事業（明日を拓く人材育成事業）（再掲）	3,522	道徳教育資料「明日を拓く一人間としての在り方生き方を求めて」を活用した道徳教育の取組や様々な体験活動、社会貢献活動を行い、児童生徒の道徳性の向上を図る。	実践指定校として、県立高等学校 8 校、県立特別支援学校 2 校を指定し、道徳教育の実践や体験活動、地域貢献活動を行った。

施策の展開	当初予算額 (千円)	主 な 内 容	主 な 実 績
学校連携仲間づくり推進事業（新規） （再掲）	1,205	地域の仲間や異世代の人たちと連携・協働による豊かな心の育成と、特色ある学校づくりに取り組んでいけるよう、創意工夫ある取組の実践を委託	推進校:小3校、中3校 実践例:地域での老人会との交流、祭りや地域防災訓練への参加、福祉施設訪問、美化活動、挨拶運動等
学校支援地域本部事業 （再掲）	2,100	住民等が学習成果を生かしながら学校を支援する活動を通じて、学校、家庭、地域が一体となって子育てを行う体制づくりを行う市町村を支援	実施市町村:5市町(4市町) [北名古屋市、津島市、大治町、刈谷市、田原市]
■ 学校評価制度の活用			
小・中学校における学校評価の実施	—	学校評価ガイドラインに基づく自己評価や学校関係者評価並びに必要な場合の第三者評価の実施	自己評価実施率:小100% 中100% 学校関係者評価実施率: 小97%(96%) 中96%(97%) 第三者評価実施率:小2% 中2% ※実績は平成26年度(23年度)
県立学校における学校評議員制度の拡充・定着の支援	2,600	開かれた学校づくり及び信頼される学校づくりを進めるための学校評議員の設置及び学校評議員による学校評価の積極的な取り入れの促進	学校評議員設置状況: 高149校691人 特28校129人

(4) 県立の大学の振興

■ 大学の研究力の強化

施策の展開	当初予算額 (千円)	主 な 内 容	主 な 実 績
質の高い教育・研究の推進	—	質の高い教育・研究を推進するためのカリキュラム改正、教育内容・方法の充実・改善、研究体制の整備等	〈県立大学〉 グローバル人材育成推進事業の継続実施、充実した教養教育、少人数教育の実践 〈県立大学・県立芸術大学〉 研究所施設の新設

施策の展開	当初予算額 (千円)	主 な 内 容	主 な 実 績
自主・自律的な大学運営の実現	—	自主・自律的な大学運営を実現するための取組の実施	年度重点方針に基づく各部門重点施策の策定と運営、年度方針に重点を置いた予算編成の実施、法人固有職員の登用促進
■ 地域に開かれた大学づくり			
県立大学における地域連携の強化	—	教育研究の成果の地域への還元及び小中高等学校への学習支援、県民への生涯学習の推進等 あいち地域づくり連携大学への協力:講師派遣 2 名(3 名)・授業と連携して学生派遣	学術講演会の開催: 2 回(2 回)、参加者数:255 人(1,231 人) 公開講座の開催: 56 回(56 回)、参加者数:2,856 人(4,022 人) (看護師・高校生向け等も含む) 公開授業の開催: 1 回(1 回)、参加者数:87 人(165 人) 等
県立芸術大学における地域連携の強化	—	教育研究の成果の地域への還元及び小中高等学校への学習支援、県民への生涯学習の推進等	学内演奏会の開催:17 回(17 回)、芸術講座の開催:25 回(24 回)、1,989 人(1,626 人) 芸術資料館展覧会の開催: 10 回(15 回) 法隆寺金堂壁画模写館展覧会の開催: 6 回(6 回) 等
「大学と県教育委員会との連携推進会議」の開催(再掲)	—	県内全ての 4 年制大学や私立高校関係者、県教育委員会が相互の連携に向けた意見交換を行う会議の開催	開催:年 1 回(1 回)
「あいちの学校連携ネット」の運用(再掲)	185	大学が行う高校生向けの講座情報など、県内全ての 49 大学と高等学校・特別支援学校・市町村教育委員会とをつなげる情報の掲載	開設:平成 24 年 3 月 アクセス数:31,519 件(31,967 件)

(5) 私立学校の振興			
■ 私立学校及び私立学校に通う生徒の保護者に対する助成			
施策の展開	当初予算額 (千円)	主 な 内 容	主 な 実 績
私立学校及び 私立学校に通 学する生徒の 保護者に対す る助成	63,804,075	私立学校設置者が教育を行うた めに要する経常的経費及び施設 設備の整備に要する経費に対す る補助及び私立学校に通学する 生徒の保護者への授業料や入学 納付金の一部軽減のための補助	各種補助金の交付
■ 公私連携			
公立学校設置者会議 における公私 間の協議	—	高校生募集計画や中学3年生 の進路実現に向けた今後の課題 や取組に関する公私関係者間の 協議の実施	公立学校設置者会議: 平成27年6月26日(金)、10月 9日(金) 公私立連絡会:平成27年7月13日 (月)、10月2日(金) 実務者会議:7月～9月、12月

(6) 教育環境の整備			
■ 学校施設・設備の整備			
施策の展開	当初予算額 (千円)	主 な 内 容	主 な 実 績
愛知総合工科 高等学校の設 置(再掲)	12,535,216	本県の工業教育の中核となる高 等学校の設置準備 開校:平成28年4月 建設地:名古屋市千種区[元県立 東山工業高等学校]	建設工事(Ⅱ期)、体育館等改 修工事、環境整備工事等、初度 備品整備 運営委員会開催:2回(専門委員 会開催:2回) 作業部会開催:10回(4回) 実習先開拓のための企業訪問
産業教育設備 の整備(再掲)	69,955	県立高等学校専門学科における 産業教育のための実験実習用設 備の整備	新規整備:26校(22校) 設備更新等:32校(24校)
県立学校施設 の整備等 (再掲)	9,790,905	災害時における児童生徒の安全 確保を図るための県立学校建物 の耐震改修工事及び体育館吊り 天井の落下防止対策工事	耐震Bランク建物の耐震改修工事: 77棟(96棟) 建物の耐震化率:96.0%(91.9%) 体育館吊り天井の落下防止対策工事: 29棟(2棟) 体育館吊り天井の対策済率: 50.8%(4.8%)

施策の展開	当初予算額 (千円)	主 な 内 容	主 な 実 績
小・中学校施設の耐震化の推進（再掲）	—	小・中学校施設の耐震化が推進されるよう国や市町村に働きかけ	小・中学校の耐震化率： 99.8%(99.8%)
県立学校の冷房設備整備の検討	—	県立学校の普通教室への冷房設備の整備に関する導入方法等を引き続き検討	他府県の状況を確認しながら検討を実施
知的障害特別支援学校の過大化の解消と整備構想の検討（再掲）	157,578	県立知的障害特別支援学校の過大化に伴う問題の整理、今後の方向性の検討	知多地区の新設特別支援学校実施設計等 尾張北東地区の新設特別支援学校基本設計等 教室環境緊急整備 5 校
■ 就学援助			
高等学校等奨学金貸付金の貸与	1,045,296	経済的に修学が困難な生徒が安心して学べるよう、学力要件のない無利息の奨学金の貸与	貸与人数： 国公立学校 922 人(1,012 人) 私立学校 2,212 人(2,291 人)
公立高等学校等奨学給付金の支給	742,222	全ての意志ある生徒が安心して教育を受けられるよう低所得世帯の生徒に対し、授業料以外の教育費負担を軽減するための給付金の支給	支給人数：国公立学校 8,465 人
特別支援学校就学奨励費の支給	685,025	特別支援学校に在籍する幼児・児童・生徒の保護者を対象とした就学に要する経費の一部補助	支給対象経費：学校給食費、交通費、学用品購入費等 支給対象者：6,555 人(6,433 人)
■ へき地教育の振興			
へき地教育振興費補助金	1,004	へき地における小・中学校の教育活動の充実を図るための市町村の事業への補助	「へき地 学びの絆づくり」事業費補助金：6 市町村(7 市町村) 過疎地域スクールバス運営費補助金：3 市町村(2 市町)

■ 校務の情報化			
施策の展開	当初予算額 (千円)	主な内容	主な実績
県立学校における校務の情報化	228,840	教員用パソコンの継続配備、学校の要望を踏まえた校務支援システムの改修	教員用パソコン配備台数： 11,618台(11,523台)

(7) 教育行政の推進

■ 教育委員会の充実

施策の展開	当初予算額 (千円)	主な内容	主な実績
教育委員会の充実	—	保護者や地域住民の期待に応える質の高い教育を実現し、合議制機関としての機能をさらに充実するための取組の実施	教育委員会会議での審議等件数： 議案数 41 件(38 件) 協議題数 31 件(23 件) 報告数 47 件(48 件) 教育委員協議会での協議件数： 協議題 17 件(10 件)

■ 広報広聴活動の充実

保護者向け広報紙「パレット」の発行	1,746	公立の小・中・高等学校及び特別支援学校の保護者に教育施策等を紹介する「パレット～あいち発教育通信～」の発行	発行回数:年1回[6月] 発行部数:632,100部
インターネット広聴「ご意見箱」の設置	—	県民の意見・苦言や苦情・要望、質問・照会等をメールで受け付ける「ご意見箱」の設置	利用状況:270件

■ 市町村教育委員会との連携と支援

県から市町村への権限移譲の推進	—	希望する市町村への市町村立専修学校、各種学校に係る高等学校等就学支援金に関する事務の権限移譲	移譲先:豊橋市、岩倉市
指導主事の派遣	709,943	希望する市町村への指導主事の派遣	市町村派遣指導主事: 50市町村87人(50市町村87人)

■ 大学やNPO、産業労働団体等との連携強化			
施策の展開	当初予算額 (千円)	主 な 内 容	主 な 実 績
「大学と県教育委員会との連携推進会議」の開催 (再掲)	—	県内全ての4年制大学や私立高校関係者、県教育委員会が相互の連携に向けた意見交換を行う会議の開催	開催:年1回(1回)
「あいちの学校連携ネット」の運用 (再掲)	185	大学が行う高校生向けの講座情報など、県内全ての49大学と高等学校・特別支援学校・市町村教育委員会とをつなげる情報の掲載	開設:平成24年3月 アクセス数:31,519件(31,967件)
あいち理数教育推進事業 (知の探究講座)(再掲)	2,174	大学と連携し、高等学校で学べない先進的な理数教育を受ける機会を高校生に提供	講座数:6講座(6講座)[名古屋大学、愛知教育大学、名古屋工業大学、豊田工業大学、愛知県立大学、豊橋技術科学大学] 参加者数:162人(148人)
教員等に対する「外国人児童生徒教育講座」の実施	33	外国人児童生徒教育を担当する小・中・高等学校、特別支援学校教員を対象に大学教員等を講師とした専門的な知識を身に付ける研修の実施	対象教員数:52人(52人) 集合研修:2日間(2日間) ※事前にeラーニング研修
連携協定を締結している大学との協議会の開催(再掲)	141	「愛知県総合教育センター・大学連携協議会」を設置し、相互の研究と教育の充実・発展を図るための協議を実施	回数:2回 開催日:平成27年7月10日(金) 平成28年1月28日(木)

